

平成25年度  
次世代育成支援に関するニーズ等調査  
結果報告書（案）  
—概要版—

松原市

## 目次

調査の概要	3
1. 調査目的	3
2. 調査方法	3
3. 回収状況	3
4. 報告書の留意点・見方	3
結果の概要	4
1. 回答者属性	4
2. 就労状況（就学前）	5
1) 就学前児童「母親」の就労状況（就学前問 12~14）	5
2) 就学前児童「父親」の就労状況（就学前問 15）	6
3. 平日の定期的な幼稚園や保育所、子育て支援センターなどについて（就学前）	7
1) 平日の定期的な幼稚園や保育所等の施設・サービスの利用状況（就学前問 18）	7
2) 平日の定期的な幼稚園や保育所等の施設・サービスの利用意向（就学前問 20）	9
4. 幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日、長期休業中の定期的な利用意向	11
5. 病気の際の対応について（就学前・就学児）	13
1) 病気やけがで平日の幼稚園や保育所などの施設やサービスが利用できなかった経験とその対応	13
2) 病気やけがで仕事を休んだ人の病気の子どものための保育施設などの利用意向	15
6. 不定期な幼稚園・保育所等の施設・サービスについて（就学前・就学児）	16
1) 子どもを預かるサービスの「不定期な」利用状況（就学前問 32）	16
2) 保育所などで実施されている「一時預かり」の利用意向（就学前問 33・33-1）	16
3) 泊まりがけで家族以外に子どもをみてもらう経験の有無とその対応	18
7. 留守家庭児童会室（学童保育）について（就学前・就学児）	20
1) 5歳児・6歳児の留守家庭児童会室の利用意向（就学前問 28・29・30-1・30-2・31）	20
2) 小学生の留守家庭児童会室の利用状況（就学問 15・16-1）	21
3) 小学生の留守家庭児童会室の利用意向（就学問 16-1・16-3・16-5・17-1）	22
8. 子育て支援センターについて（就学前）	25
1) 子育て支援センターについて（就学前問 35・36・36-1-2）	25
9. 子育てと仕事の両立について（就学前）	27
1) 母親の育児休業取得状況（就学問 23・23-4）	27
2) 父親の育児休業取得状況（就学問 24・24-3）	29
10. 子育てに関する意識・動向（就学前・就学児）	30
1) 子育ての楽しさ（就学前問 45）	30
2) 遊び場への満足度（就学前問 41・就学問 30）	30
3) 子どもの虐待を見聞した経験（就学前問 43・就学問 32）	31
4) 地域で子育てが支えられているか（就学前問 47・就学問 36）	31
11. 市などに充実させてほしい子育て支援サービス	32

## 調査の概要

### 1. 調査目的

「松原市次世代育成支援行動計画後期計画」に沿った子ども・子育て支援に関する様々な取り組みを検証するとともに、「子ども・子育て支援事業計画」の策定にむけて、市民の皆様が必要としている教育・保育・子育て支援の必要量や施策に対する意向などを把握するため、本アンケート調査を実施しました。

### 2. 調査方法

就学前児童調査	調査対象者	松原市内在住の就学前の子どもを持つ保護者 1,800 人
	調査方法	郵送による配布および回収
	調査時期	平成 25 年 10 月 24 日（木）～11 月 15 日（金）
就学児童調査	調査対象者	松原市内在住の就学中の小学生を持つ保護者 1,000 人
	調査方法	郵送による配布および回収
	調査時期	平成 25 年 10 月 24 日（木）～11 月 15 日（金）

### 3. 回収状況

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童調査	1,800 件	871 件	48.4%
就学児童調査	1,000 件	502 件	50.2%

### 4. 報告書の留意点・見方

- 表・グラフに付加されている「n」は質問に対する回答者数を表しています。
- 結果数値(%)は、少数点第 2 位を四捨五入しており、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が 100%を超えます。

## 結果の概要

### 1. 回答者属性

#### ■就学前児童（子どもの年齢）

	合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	不明・ 無回答
全体	871	17.0	18.6	16.6	14.6	12.1	12.3	6.1	2.8

#### ■就学児童（子どもの年齢）

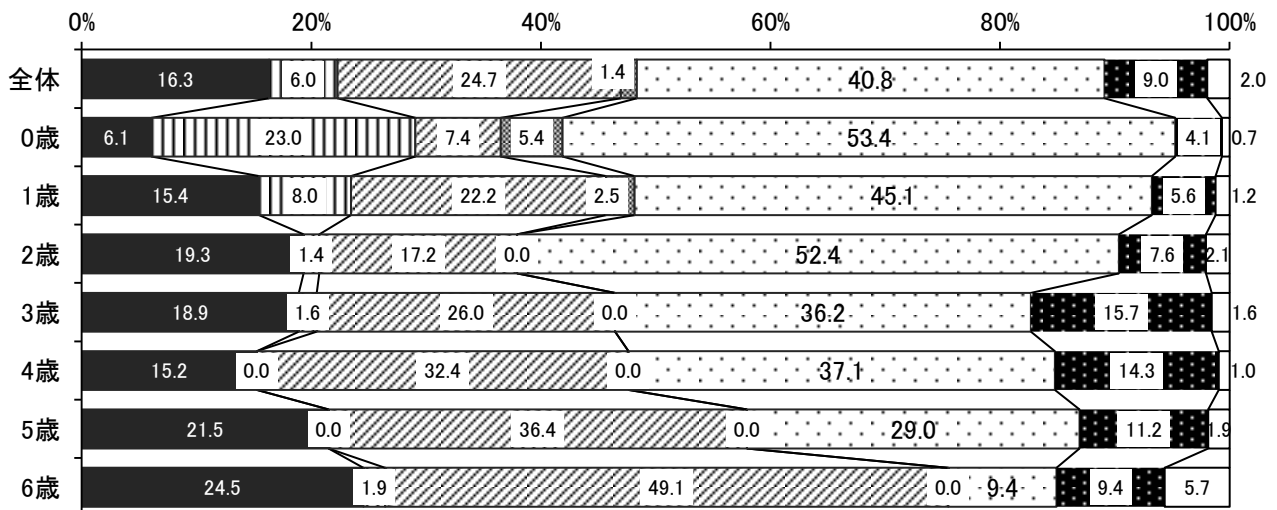
	人数	6歳	7歳	8歳	9歳	不明・ 無回答
全体	502	15.5	30.5	31.5	20.1	2.4

## 2. 就労状況（就学前）

### 1) 就学前児童「母親」の就労状況（就学前問 12~14）

■就労している母親（「フルタイム」＋「フルタイムで産休・育休・介護休業中」＋「パート等」＋「パート等で産休・育休・介護休業中」）は、全体で 48.4%を占めています。また、子どもの年齢とともに就労している母親の割合は増加傾向にあり、6歳児の母親で 75.5%となっています。

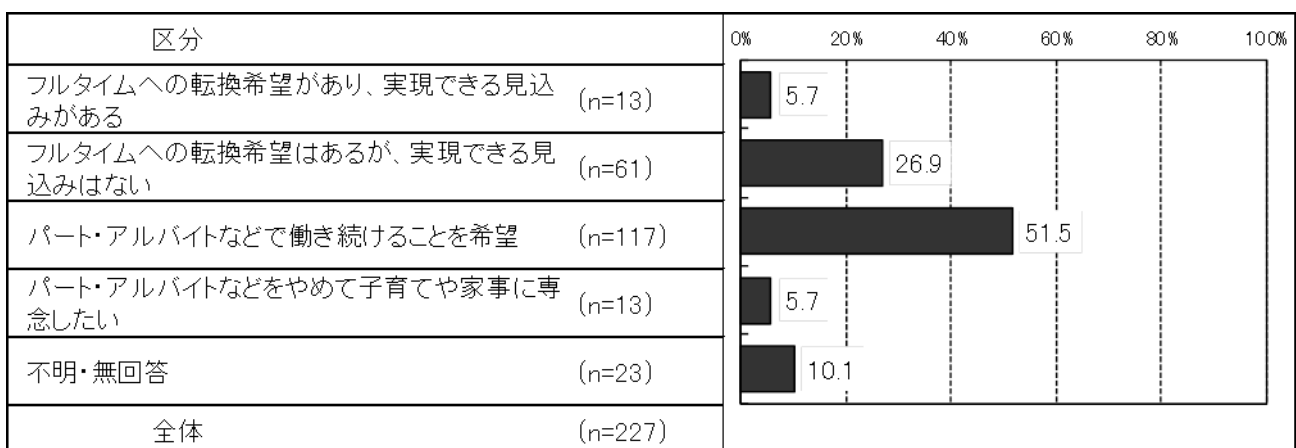
【就学前\_全体・年齢別の母親の就労状況】



- フルタイムで働いている
- フルタイムで働いているが、今は休んでいる(産休・育休・介護休業中)
- ▨パート・アルバイトなどで働いている
- ▨パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(産休・育休・介護休業中)
- 以前は働いていたが、今は働いていない
- これまで働いたことがない
- 不明・無回答

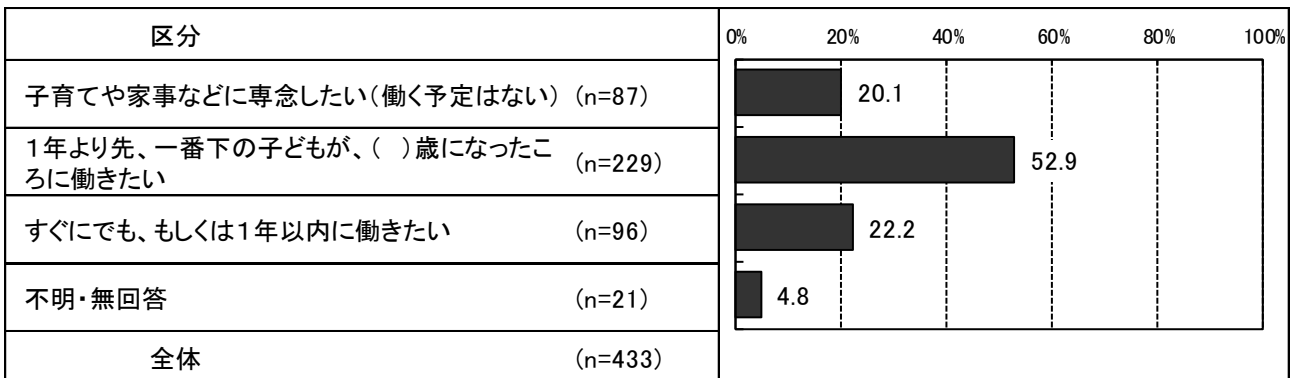
■パート・アルバイト等で就労している母親（「パート等」＋「パート等で産休・育休・介護休業中」）のうち、フルタイムへの転換希望がある母親は 32.6%となっています。

【就学前\_パート等で就労している母親のフルタイムへの転換希望】



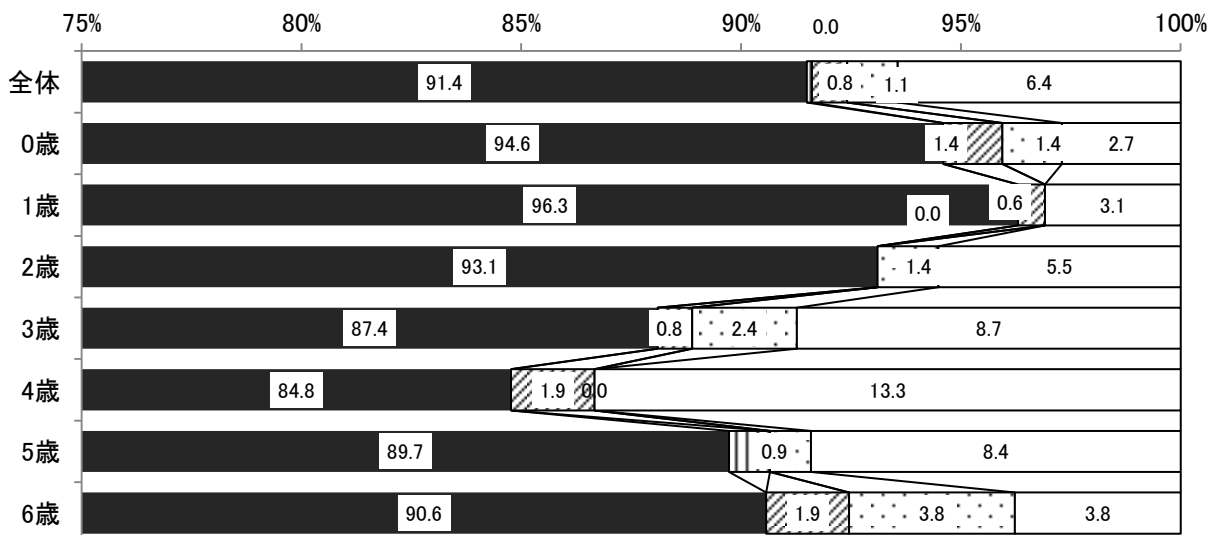
■就労していない母親（「以前は就労していたが、今は就労していない」＋「これまで就労したことがない」）のうち、すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい母親は22.2%となっています。

【就学前\_パート等で就労している母親のフルタイムへの転換希望】



## 2) 就学前児童「父親」の就労状況 (就学前問 15)

■就労している父親（「フルタイム」＋「フルタイムで産休・育休・介護休業中」＋「パート等」＋「パート等で産休・育休・介護休業中」）は全体で92.3%を占めています。



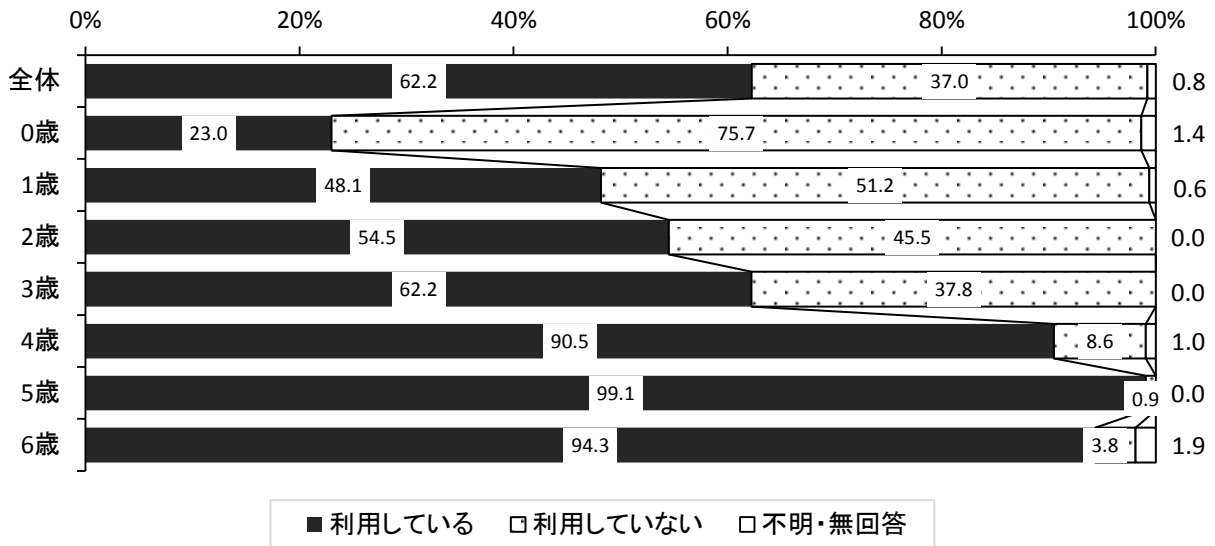
- フルタイムで働いている
- フルタイムで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中)
- ▨パート・アルバイトなどで働いている
- ▤パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中)
- 以前は働いていたが、今は働いていない
- 不明・無回答

### 3. 平日の定期的な幼稚園や保育所、子育て支援センターなどについて（就学前）

#### 1) 平日の定期的な幼稚園や保育所等の施設・サービスの利用状況（就学前問 18）

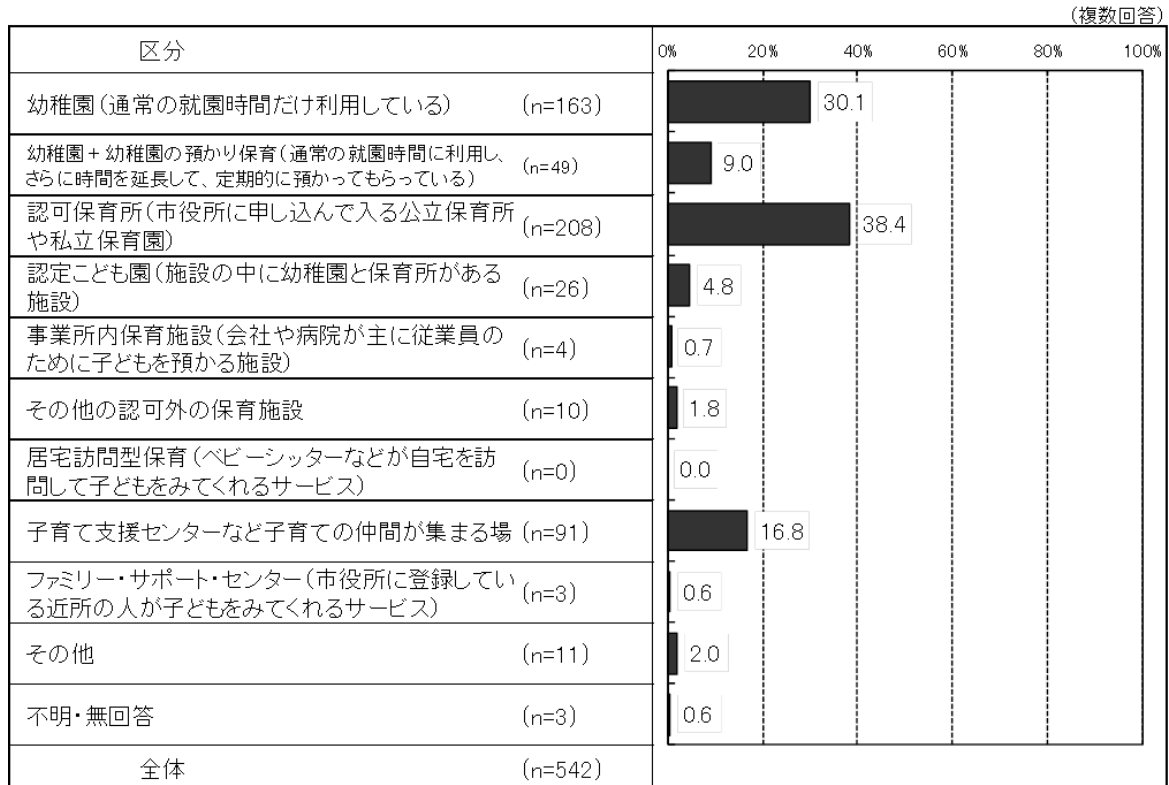
- 平日の定期的な施設・サービスの利用状況をみると、全体で「利用している」が 62.2%となっています。
- 子どもの年齢別でみると、0歳児でも 23.0%であり、4歳児以降は9割を超えている状況です。

【就学前\_平日の定期的な施設・サービスの利用状況】



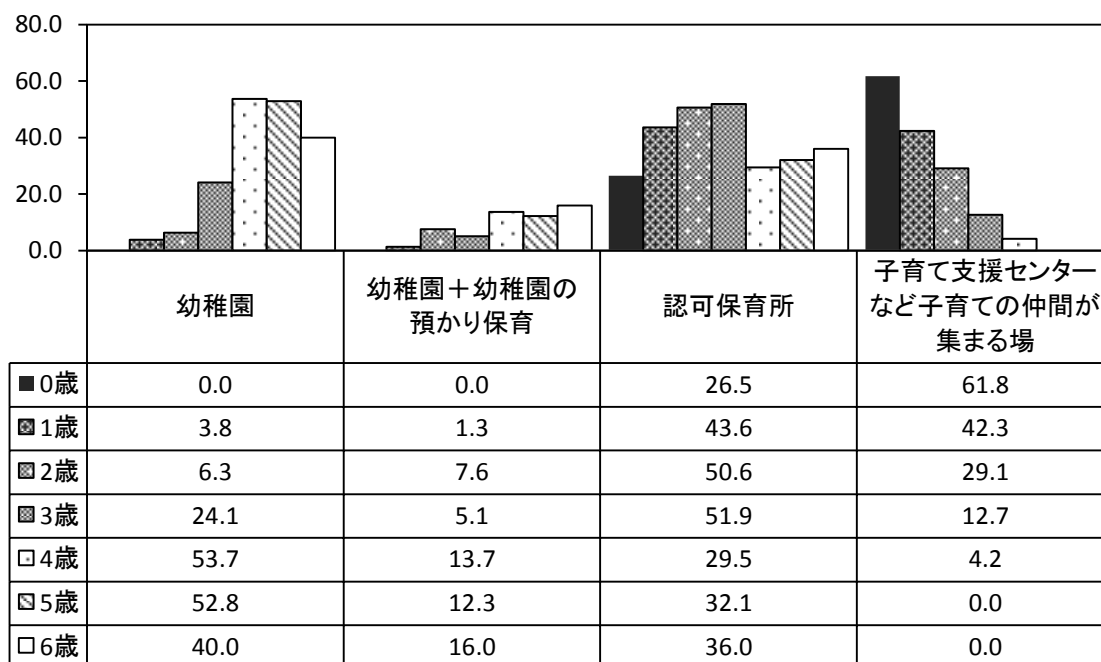
- 平日に定期的にご利用している施設・サービスの内容をみると、「認可保育所」が 38.4%で最も多く、「幼稚園（通常の時間だけ利用している）」(30.1%)、「子育て支援センターなどの子育ての仲間が集まる場」(16.8%) がつづいています。

【就学前\_平日の定期的な施設・サービスの内容】



■平日に定期的に利用している施設・サービスのうち、上位を占める「認可保育所」「幼稚園（通常の時間だけ利用している）」「子育て支援センターなどの子育ての仲間が集まる場」等について、子どもの年齢別でみると、「認可保育所」では1～3歳、「幼稚園（通常の時間だけ利用している）」「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」では4歳以降で多い傾向にあります。「子育て支援センターなどの子育ての仲間が集まる場」については、0歳児が最も多く6割程度になっています。

【就学前\_年齢別の各施設・サービスの利用率】

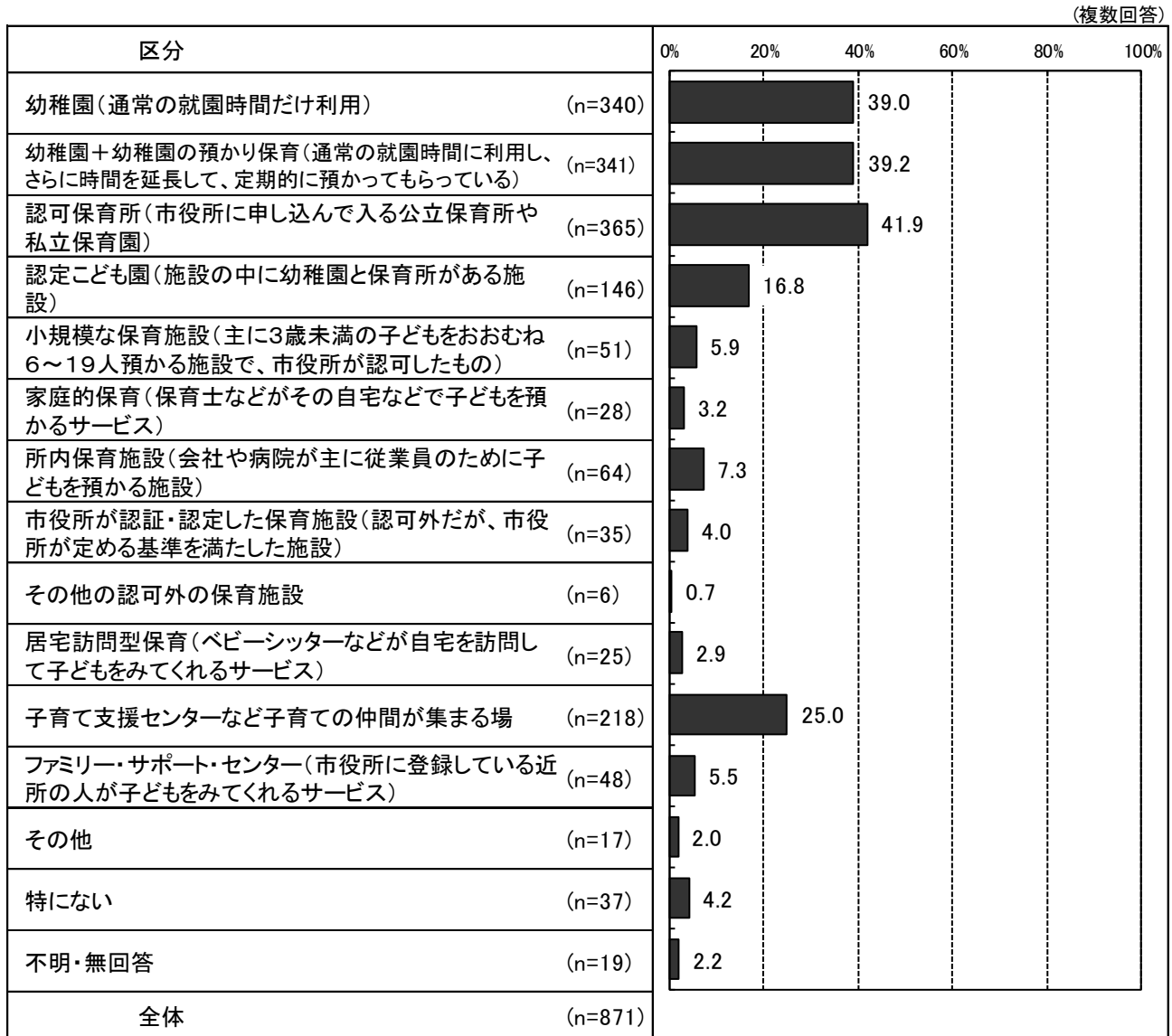




## 2) 平日の定期的な幼稚園や保育所等の施設・サービスの利用意向（就学前問 20）

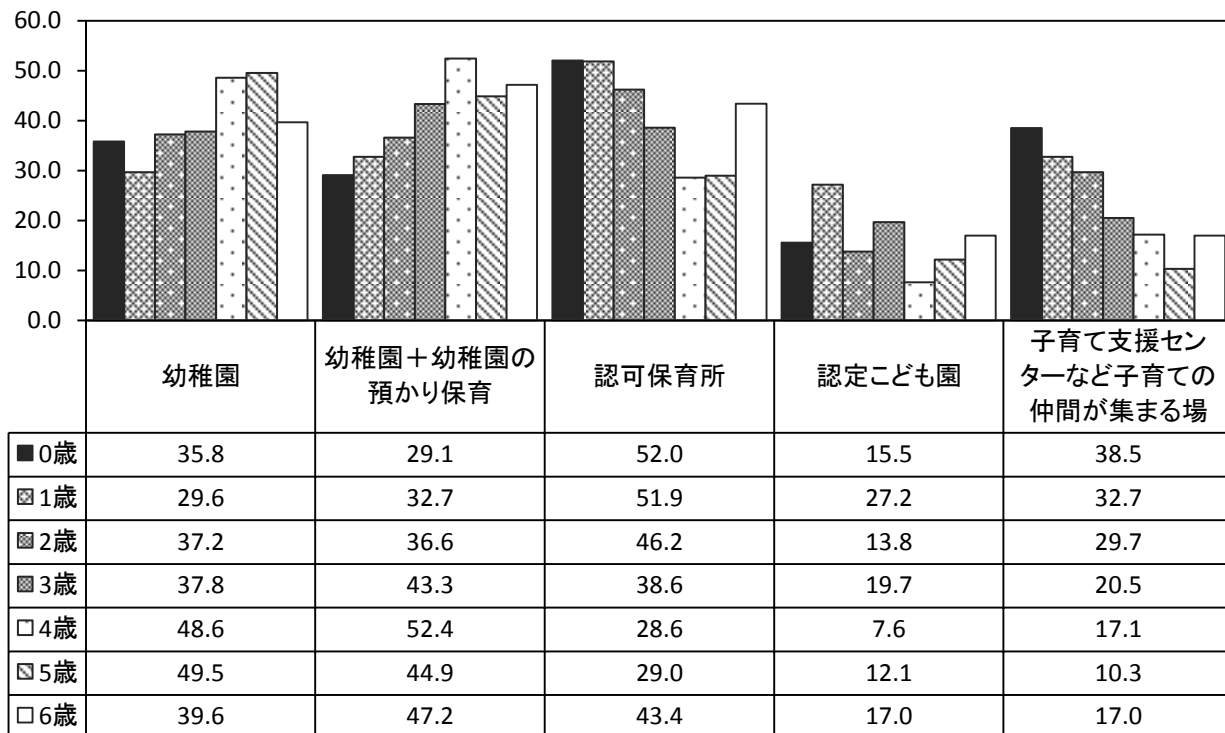
■平日の定期的な施設・サービスの利用意向をみると、「認可保育所」が41.9%で最も多く、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」（39.2%）、「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」（39.0%）がつづいています。

【就学前\_平日の定期的な施設・サービスの利用意向】



■平日に定期的にご利用したい施設・サービスのうち、上位を占める「認可保育所」「幼稚園（通常の間だけ利用している）」「子育て支援センターなどの子育ての仲間が集まる場」等について、子どもの年齢別でみると、「認可保育所」では0歳・1歳の利用意向が高くなっています。

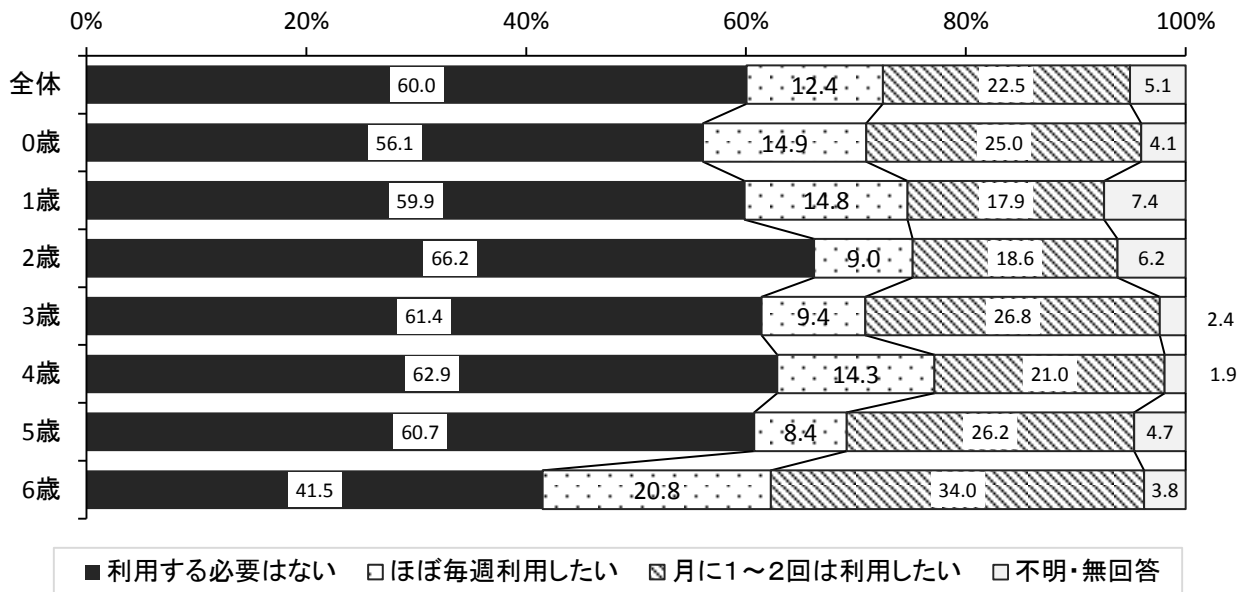
【就学前\_年齢別の各施設・サービスの利用率】



#### 4. 幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日、長期休業中の定期的な利用意向について（就学前）

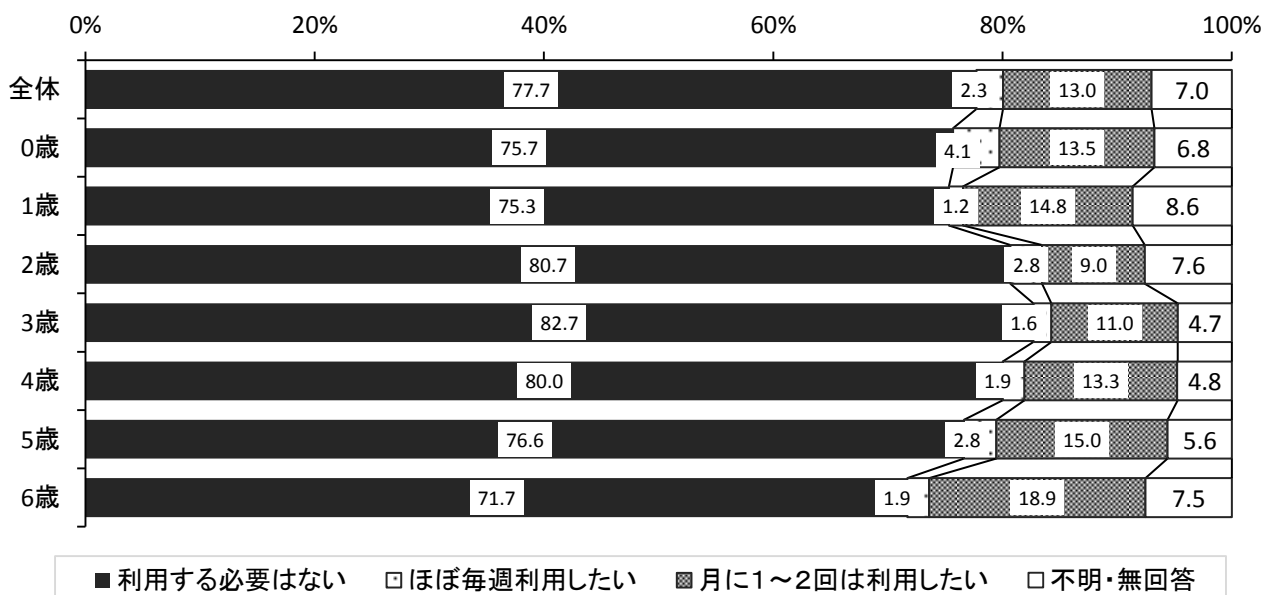
■土曜日の幼稚園や保育所などの利用意向について、全体では「利用する必要はない」が60.0%で最も多くなっています。子どもの年齢別でみると、6歳を除くすべての年齢で「利用する必要はない」が6割前後になっています。

【就学前\_全体・年齢別幼稚園や保育所などの土曜日の利用意向】



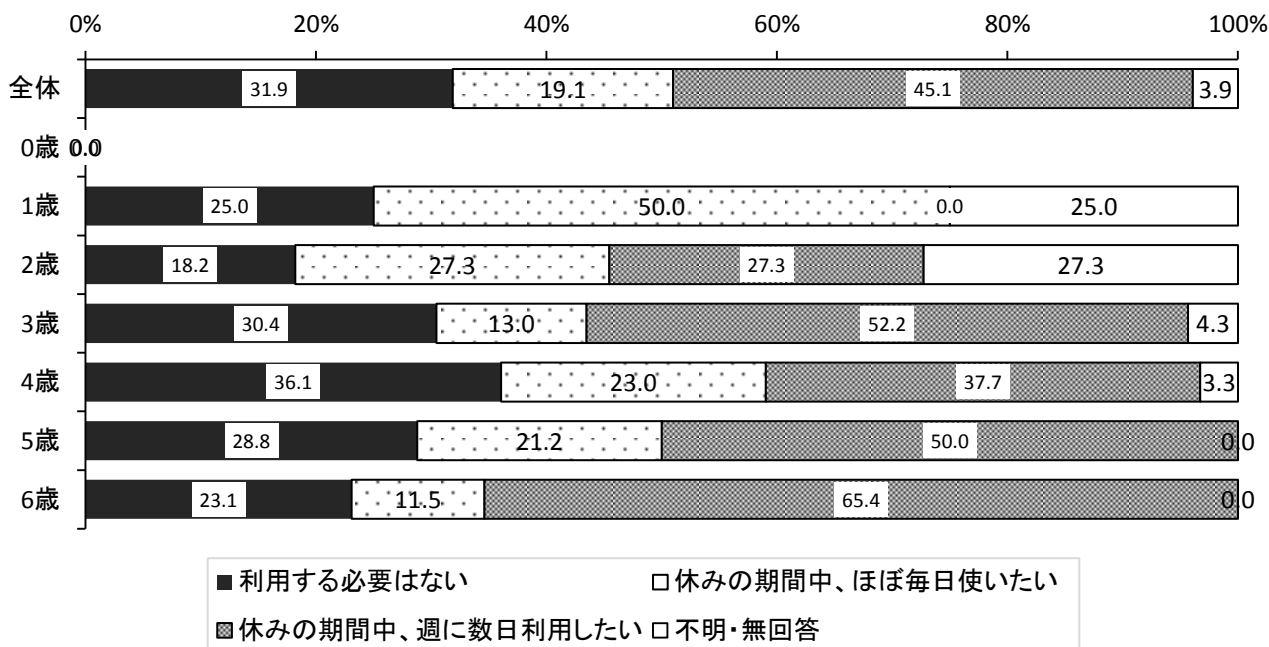
■日曜日・祝日の幼稚園や保育所などの利用意向について、全体では「利用する必要はない」が77.7%で最も多くなっています。子どもの年齢別でみると、すべての年齢で「利用する必要はない」が7割を超えています。

【就学前\_全体・年齢別幼稚園や保育所などの日曜日・祝日の利用意向】



■長期休業中の幼稚園や保育所などの利用意向について、全体では「休みの期間中、週に数日利用したい」が45.1%で最も多くなっています。子どもの年齢別で見ると、3歳以降で「休みの期間中、週に数日利用したい」が多い傾向にあります。

【就学前\_全体・年齢別幼稚園や保育所などの長期休業中の利用意向】



## 5. 病気の際の対応について（就学前・就学児）

※就学前児童について、平日の定期的な幼稚園・保育所等の施設・サービスを利用している保護者のみ

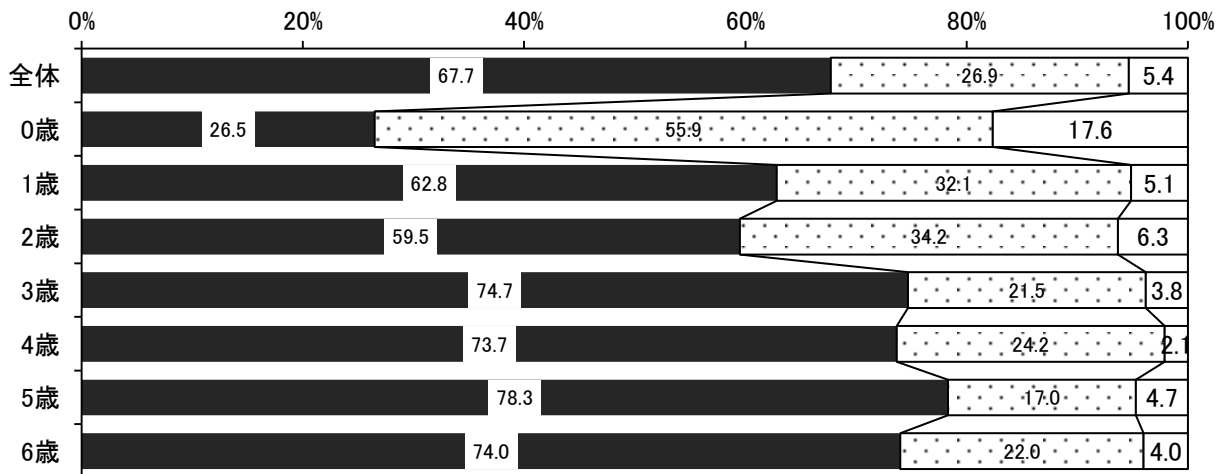
### 1) 病気やけがで平日の幼稚園や保育所などの施設やサービスが利用できなかった経験とその対応

#### (1) 就学前児童（就学前問 19・19-1）

■病気やけがで平日の幼稚園や保育所などの施設やサービスが利用できなかった経験の有無をみると、全体では「あった」が67.7%となっています。

■子どもの年齢別でみると、0歳では26.5%であるのに対し、1歳では62.8%と増加しており、3歳以降は7割台となっています。

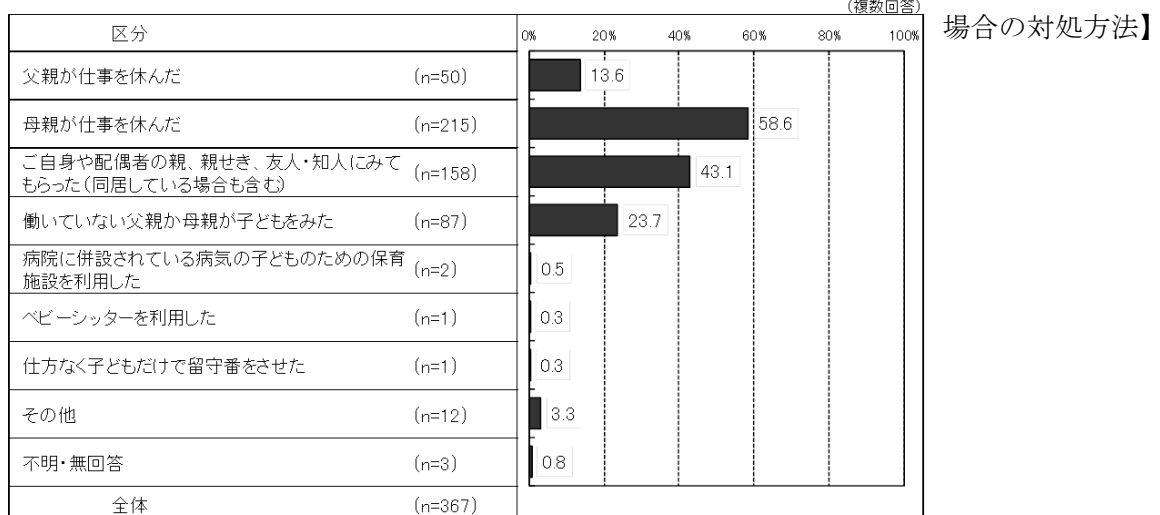
【就学前\_全体・年齢別の病気やけがで普段利用している施設・サービスが利用できなかった経験】



■あった □なかった □不明・無回答

■病気やけがで普段利用している施設・サービスが利用できなかった場合の対処方法をみると、「母親が休んだ」が58.6%で最も多く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」(43.1%)となっています。

【就学前\_全体・年齢別の病気やけがで普段利用している施設・サービスを利用できなかった

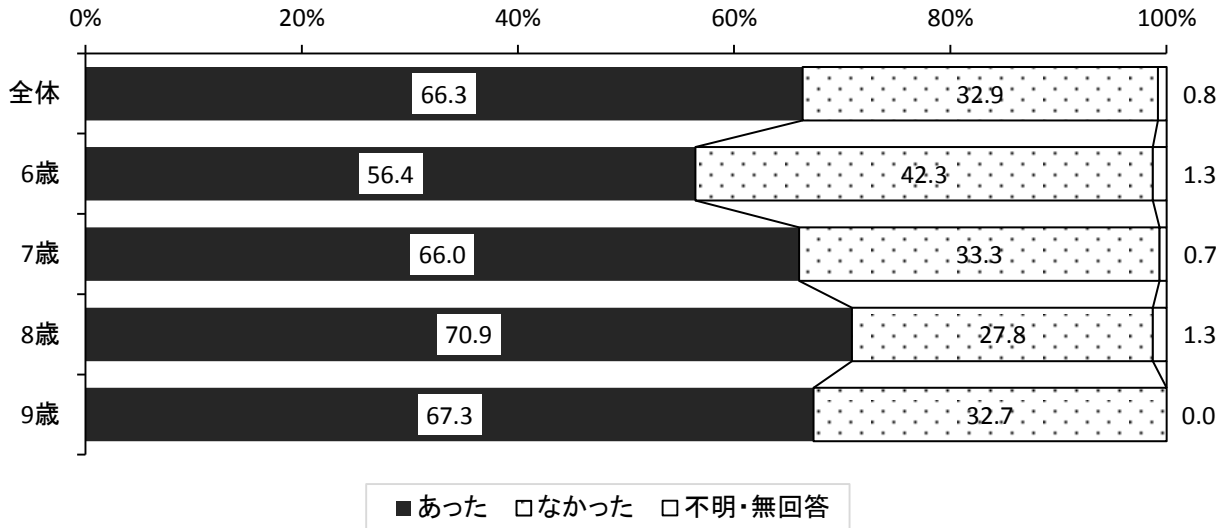


## (2) 就学児童（就学問 18・18-1）

■病気やけがで普段利用している施設やサービスが利用できなかった経験の有無をみると、全体では「あった」が 66.3%となっています。

■子どもの年齢別でみると、6歳では 56.4%で、7歳以降は6割を超えている状況です。

【就学\_全体・年齢別の病気やけがで普段利用している施設・サービスが利用できなかった経験】

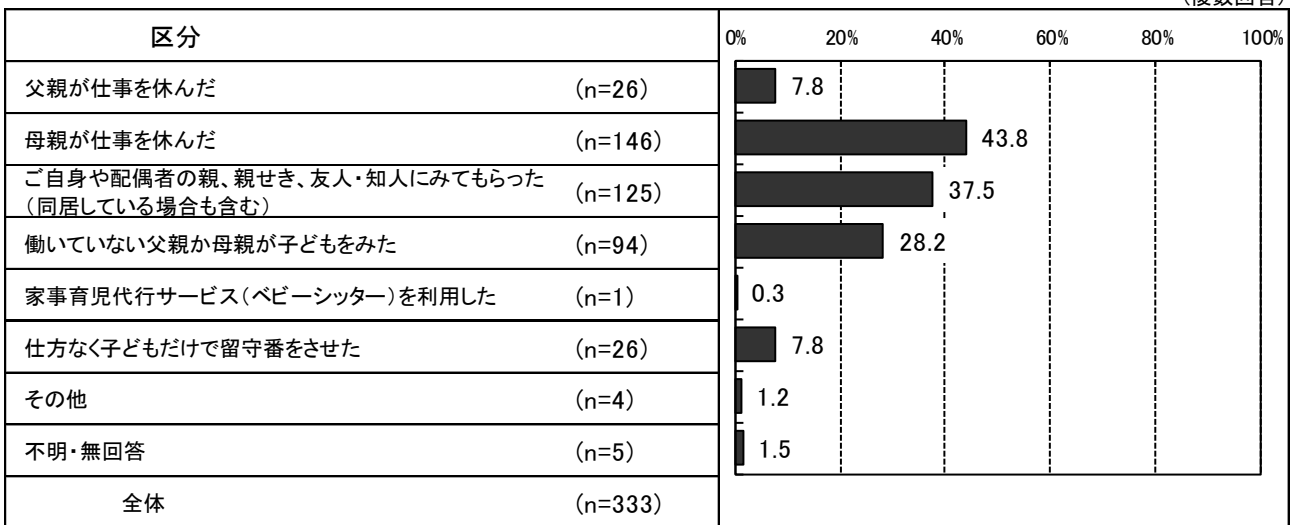


■病気やけがで普段利用している施設・サービスが利用できなかった場合の対処方法をみると、「母親が休んだ」が 43.8%で最も多く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」(37.5%) となっています。

【就学\_全体・年齢別の病気やけがで普段利用している施設・サービスを利用できなかった

場合の対処方法】

(複数回答)

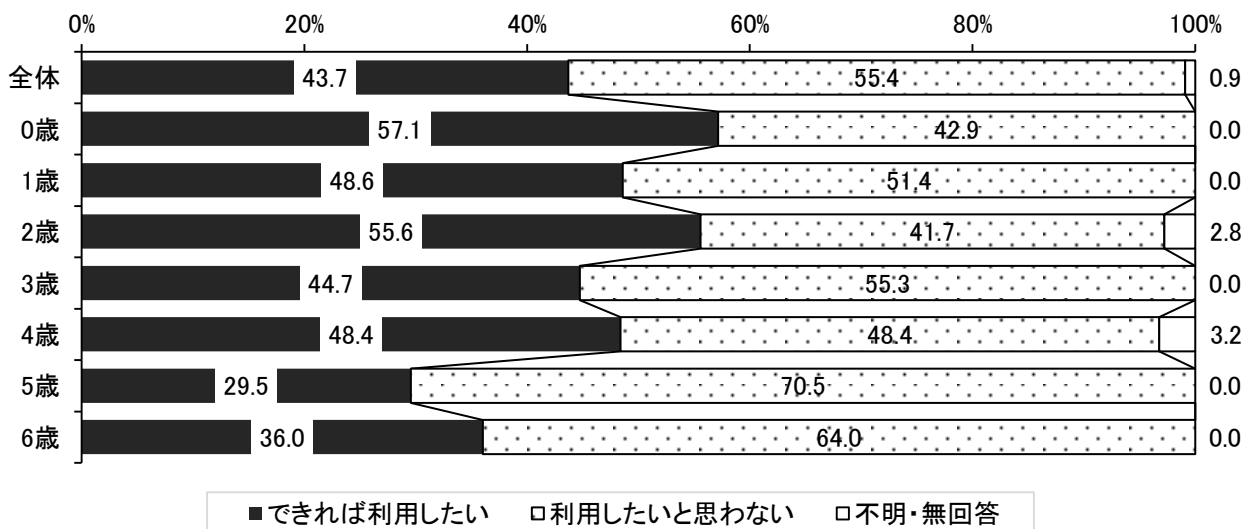


## 2) 病気やけがで仕事を休んだ人の病気の子どものための保育施設などの利用意向

### (1) 就学前児童（就学前問 19-2）

- 病気やけがで普段利用している幼稚園や保育所などの施設・サービスが利用できなかった際に母親や父親が休んで看病した保護者のうち、病気の子どものための保育施設の利用意向をみると、全体では「できれば利用したい」が 43.7%となっています。
- 子どもの年齢別で見ると、0～4歳では「できれば利用したい」が4～5割台となっていますが、5歳では 29.5%、6歳では 36.0%となっており、他の年齢と比べて利用意向が低い状況です。

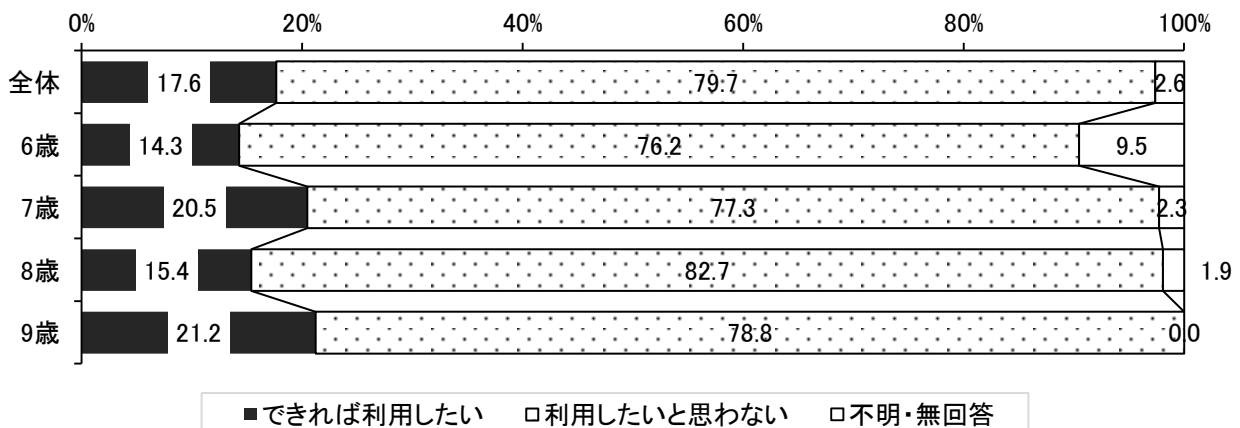
【就学前\_全体・年齢別の病気の子どものための保育施設などの利用意向】



### (2) 就学児童（就学問 18-2）

- 病気やけがで普段利用している施設・サービスが利用できなかった際に母親や父親が休んで看病した保護者のうち、病気の子どものための保育施設の利用意向をみると、全体では「利用したいと思わない」が 79.7%となっています。
- 子どもの年齢別で見ると、すべての年齢も「利用したいと思わない」が7～8割台となっており、利用意向が低い状況です。

【就学\_全体・年齢別の病気の子どものための保育施設などの利用意向】

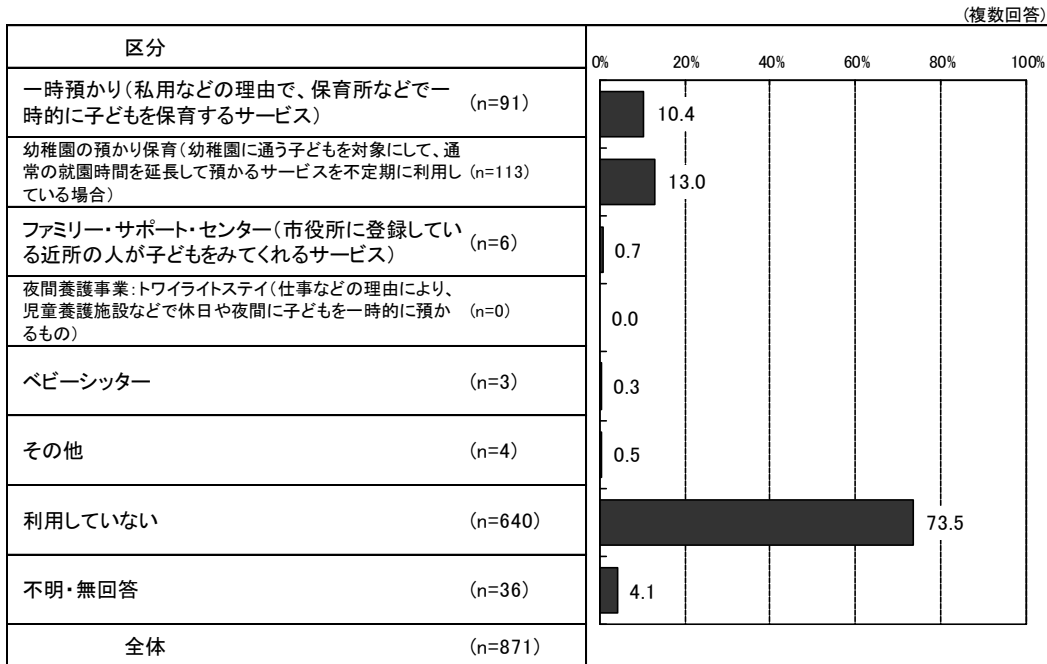


## 6. 不定期な幼稚園・保育所等の施設・サービスについて（就学前・就学児）

### 1) 子どもを預かるサービスの「不定期な」利用状況（就学前問 32）

■不定期な幼稚園、保育所等の施設・サービスの利用状況を見ると、「利用していない」が73.5%となっており、「幼稚園の預かり保育」（13.0%）、「一時預かり」（10.4%）がつづいています。

【就学前\_不定期な子どもを預かるサービスの利用状況】

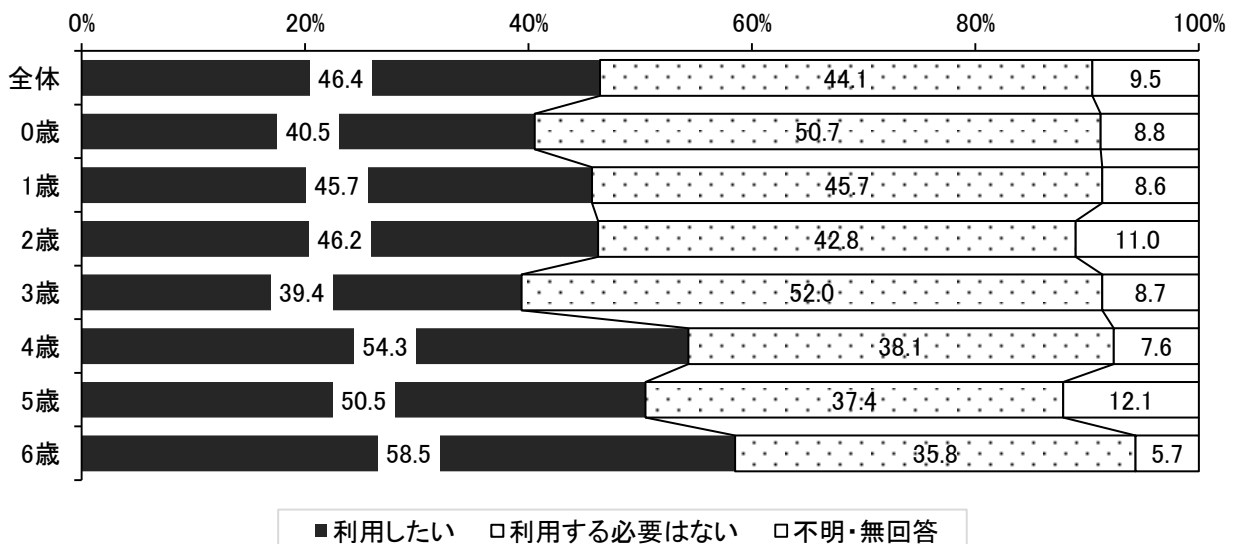


### 2) 保育所などで実施されている「一時預かり」の利用意向（就学前問 33・33-1）

■不定期な幼稚園・保育所等の施設・サービスの利用意向を見ると、全体では「利用したい」が46.4%となっています。

■子どもの年齢別で見ると、4歳以降では「利用したい」が5割台と、利用意向が高くなっています。

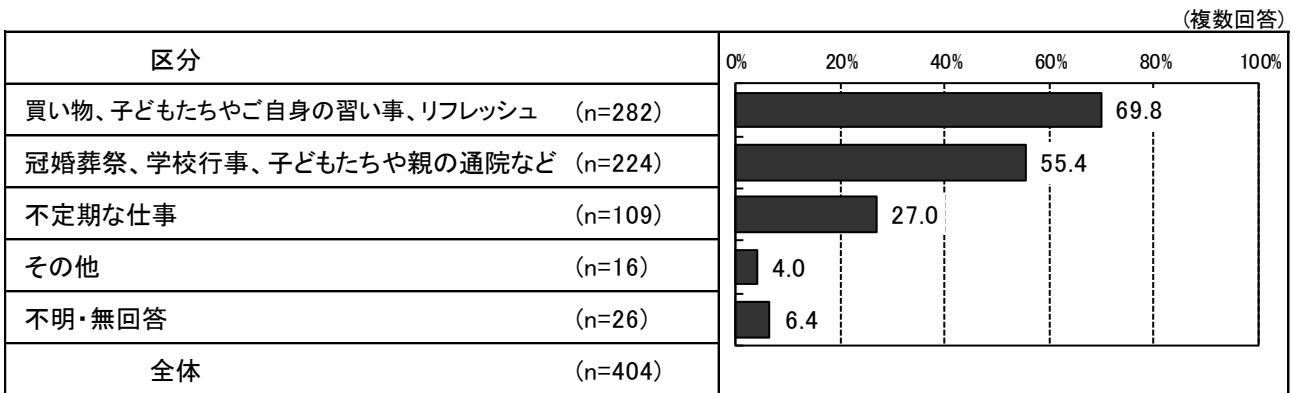
【就学前\_全体・年齢別の「一時預かり」の利用意向】





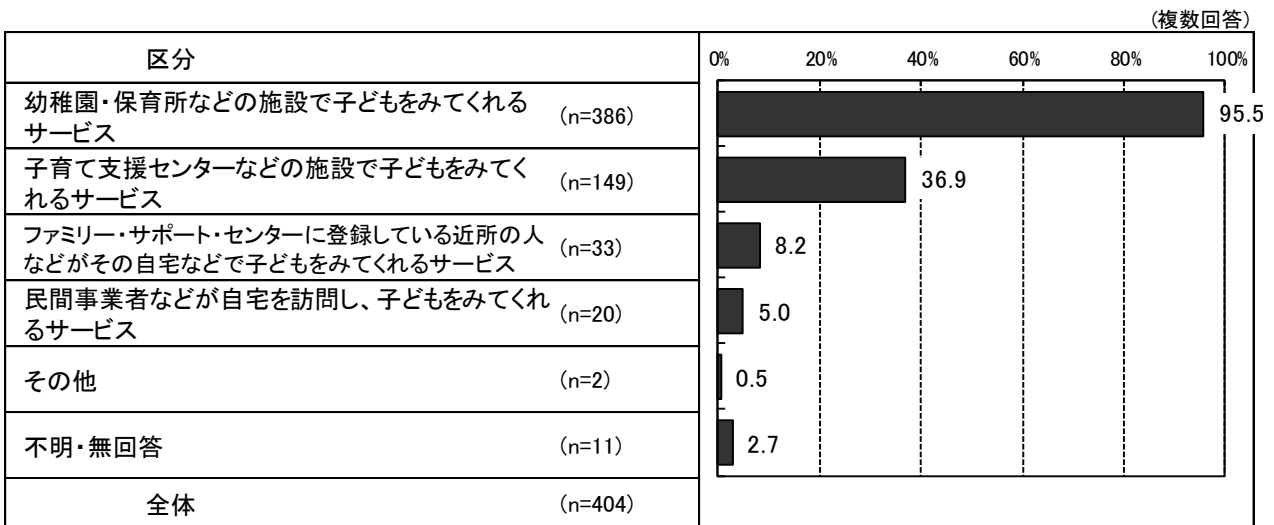
■「一時預かり」を利用したい理由をみると、「買い物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が69.8%で最も多く、「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」(55.4%)がつづいています。

【就学前\_「一時預かり」の利用したい理由】



■「一時預かり」を利用したいと思っている保護者の「一時預かり」で望ましいと思う子育て支援サービスは「幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてくれるサービス」が95.5%となっています。

【就学前\_「一時預かり」で望ましいと思う子育て支援サービス】

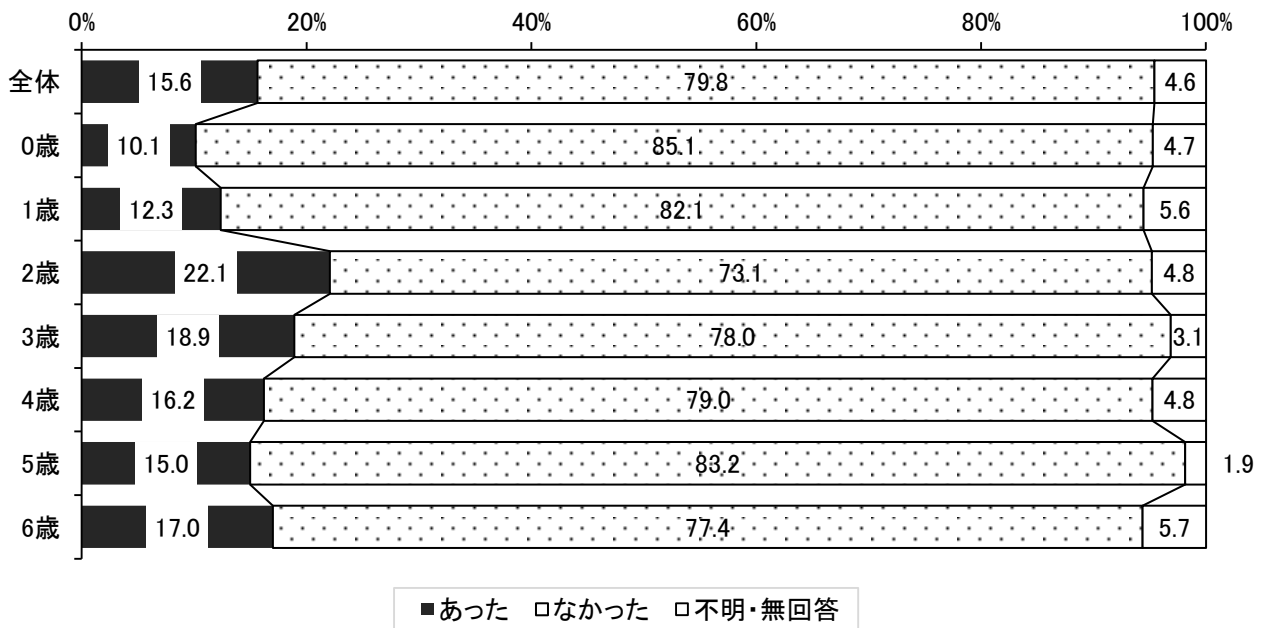


### 3) 泊まりがけで家族以外に子どもをみてもらう経験の有無とその対応

#### (1) 就学前児童（就学前問 34・34-1）

- 泊まりがけで家族以外に子どもを預けた経験の有無をみると、全体では「あった」が 15.6% となっています。
- 子どもの年齢別でみると、「あった」が 0 歳では 10.1%、1 歳では 12.3% となっていますが、2 歳以降、2 割前後となっています。

【就学前\_全体・年齢別の泊まりがけで家族以外に子どもを預けた経験の有無】



- 泊まりがけで家族以外に子どもを預けた経験がある保護者におけるその際の対処方法をみると、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が 84.6% で最も多く、「仕方なく子どもを同行させた」(15.4%) がつづいています。

【就学前\_泊まりがけ時の対処方法】

(複数回答)

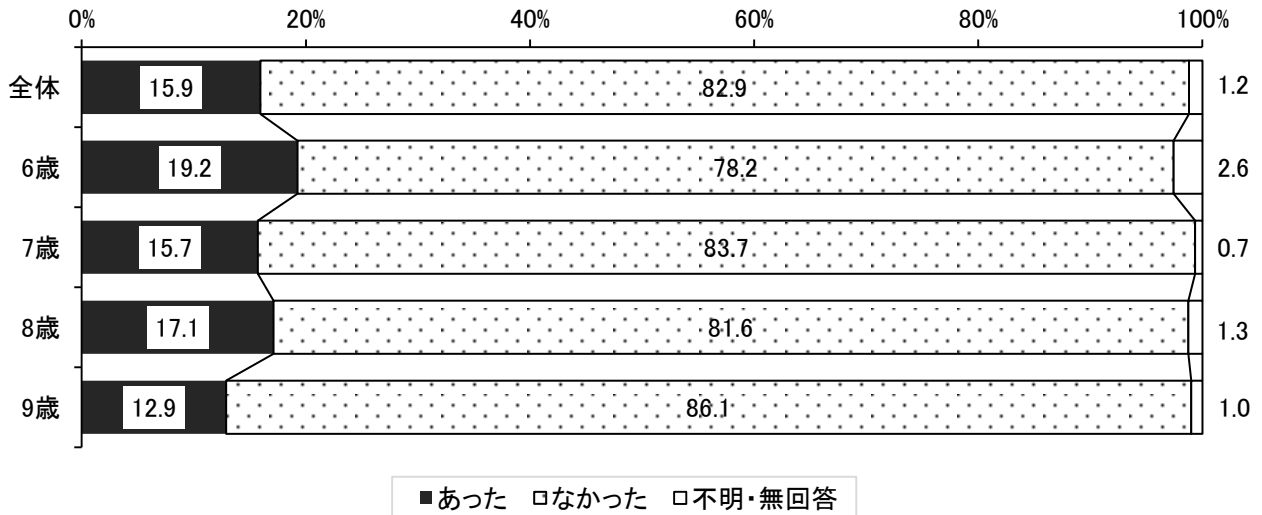
区分	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む) (n=115)	84.6					
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設などで一定期間子どもを預かるもの) (n=0)	0.0					
イ以外の保育サービス(認可外保育施設、ベビーシッターなど)を利用した (n=1)	0.7					
仕方なく子どもを同行させた (n=21)	15.4					
仕方なく子どもだけで留守番をさせた (n=0)	0.0					
その他 (n=2)	1.5					
不明・無回答 (n=0)	0.0					
全体 (n=136)						

## (2) 就学児童（就学前問 20・20-1）

■泊まりがけで家族以外に子どもを預けた経験の有無をみると、全体では「あった」が15.9%となっています。

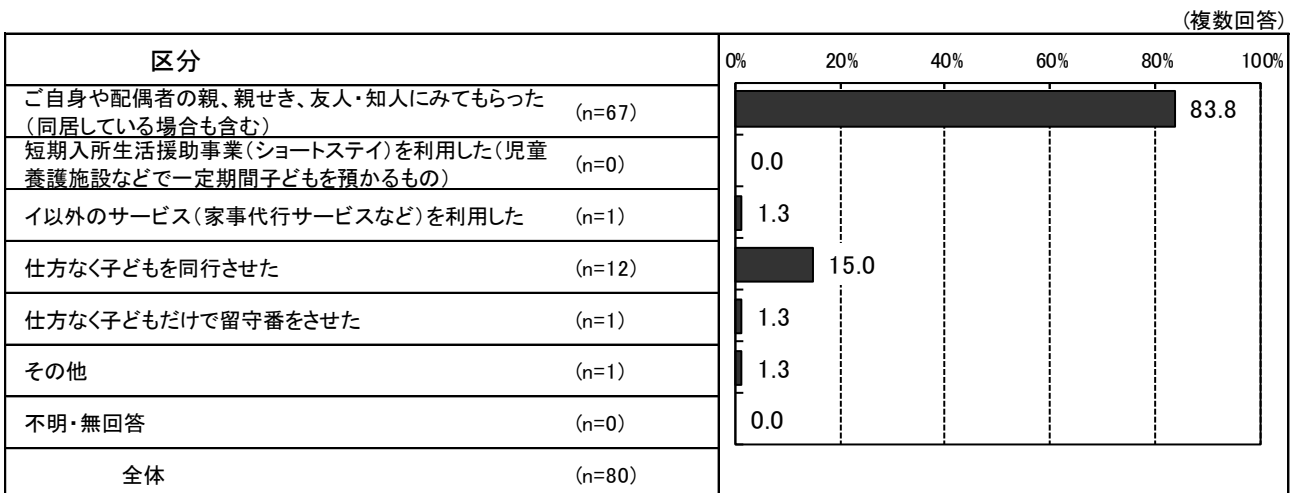
■子どもの年齢別でみると、6歳では「あった」が19.2%と他の年齢に比べて高い状況です。

【就学\_全体・年齢別の泊まりがけで家族以外に子どもを預けた経験の有無】



■泊まりがけで家族以外に子どもを預けた経験がある保護者におけるその際の対処方法をみると、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が83.8%で最も多く、「仕方なく子どもを同行させた」(15.0%)がつづいています。

【就学\_泊まりがけ時の対処方法】

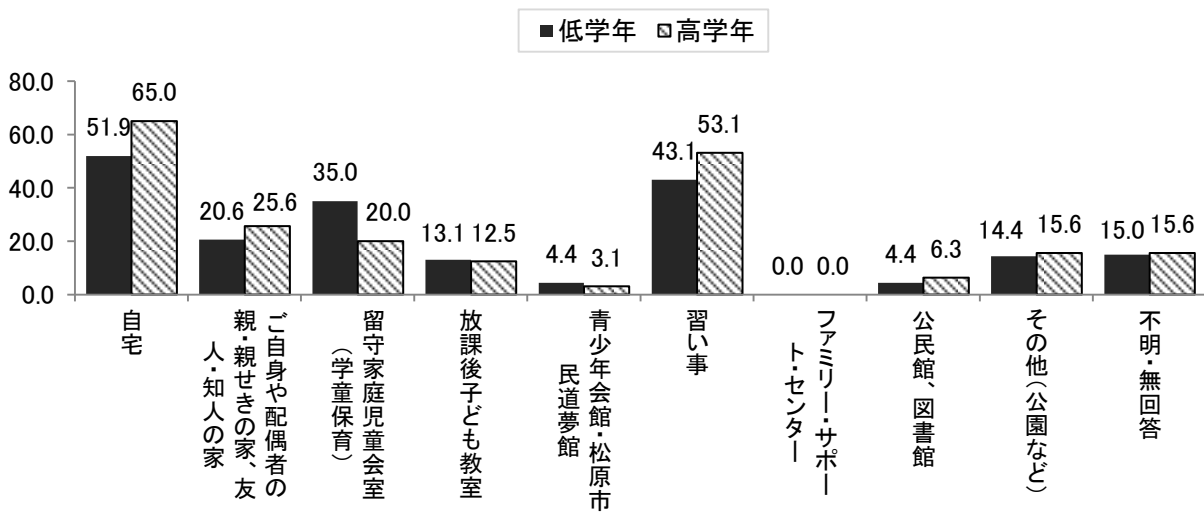


## 7. 留守家庭児童会室（学童保育）について（就学前・就学児）

### 1) 5歳児・6歳児の留守家庭児童会室の利用意向（就学前問 28・29・30-1・30-2・31）

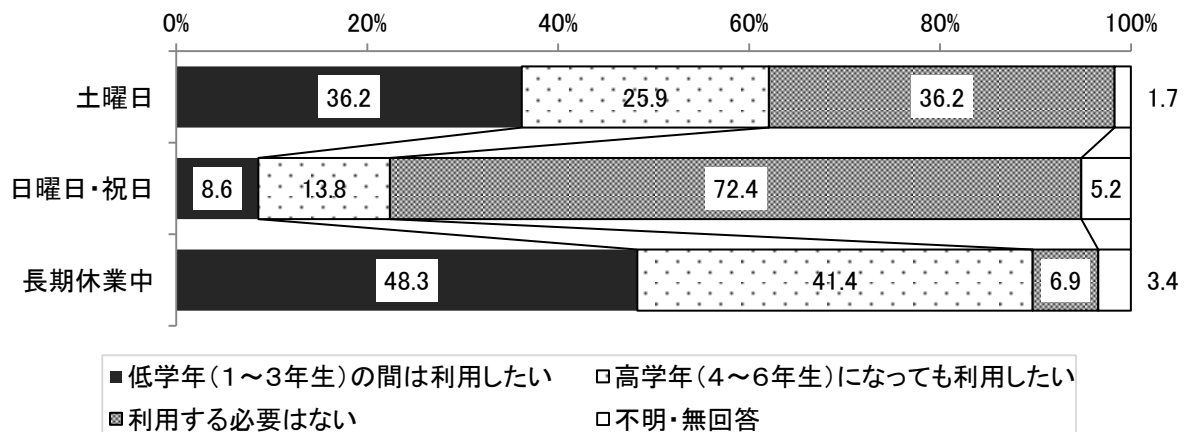
■ 5歳以上において希望する放課後の過ごし方をみると、低学年では「自宅」が51.9%で最も多く、「習い事」(43.1%)、「留守家庭児童会室」(35.0%)とつづいています。高学年では「自宅」が65.0%で最も高く、「習い事」(53.1%)、「ご自身や配偶者、親せきの家、友人・知人の家」(25.6%)がつづいています。

【就学前（5歳児・6歳児）\_希望する放課後の過ごし方】



■ 低学年、高学年で留守家庭児童会室を利用したいと回答した保護者において、土曜日、日曜・祝日、長期休業中の利用意向をみると、土曜日では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が36.2%となっており、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が25.9%となっています。日曜・祝日では、「利用する必要はない」が72.4%となっています。長期休業中は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が48.5%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が42.4%となっており、利用意向は9割を超えています。

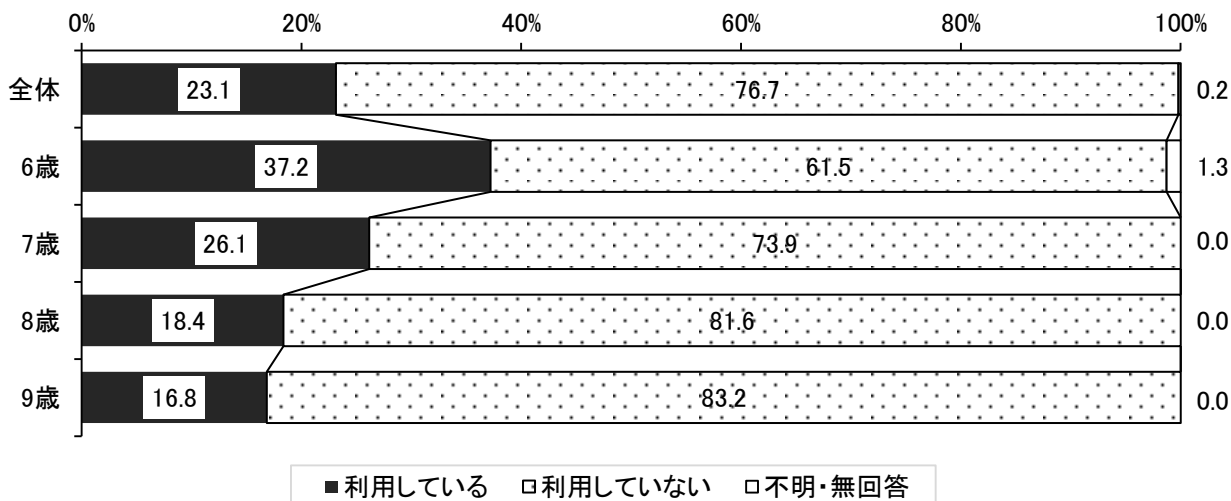
【就学前（5歳児・6歳児）\_土曜日・日曜日・祝日・長期休暇中の留守家庭児童会室の利用意向】



## 2) 小学生の留守家庭児童会室の利用状況（就学問 15・16-1）

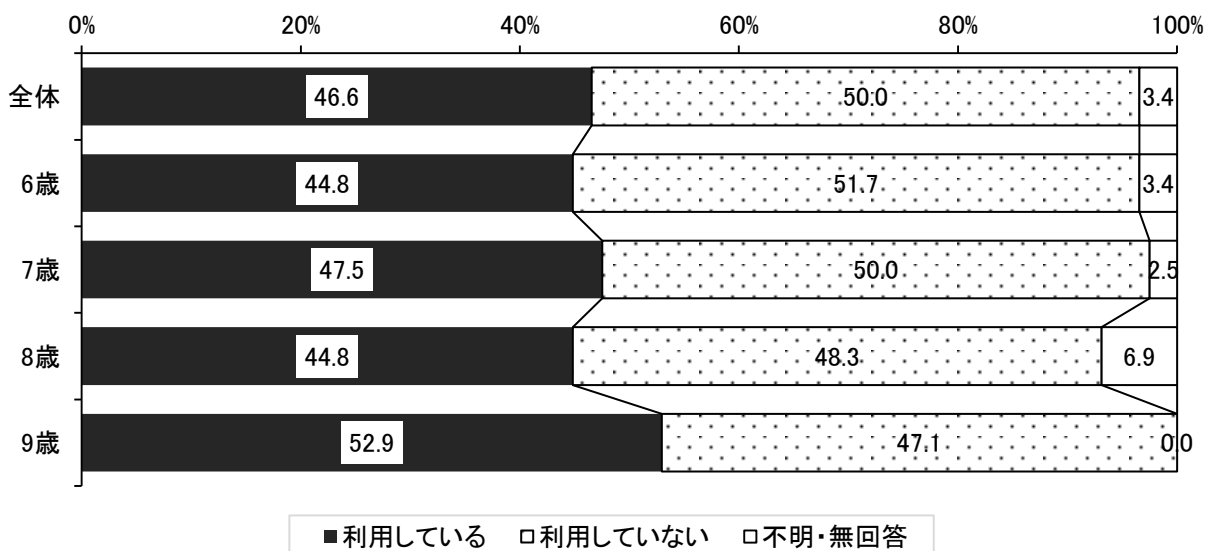
- 留守家庭児童会室の利用状況をみると、全体では「利用している」が23.1%となっています。
- 子どもの年齢別でみると、6歳では「利用している」が37.2%であり、7歳以降減少しています。

【就学\_全体・年齢別の平日の留守家庭児童会室の利用状況】



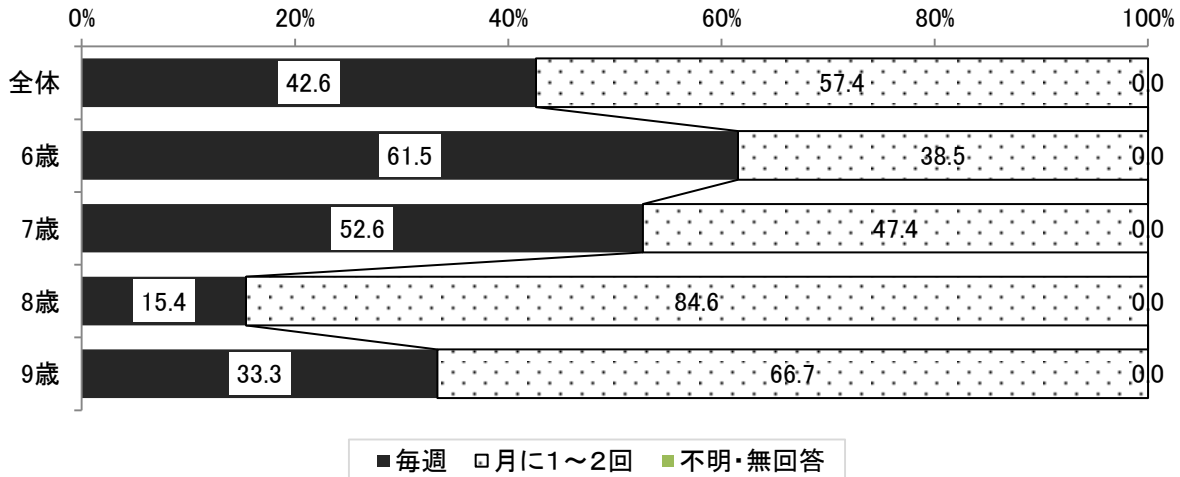
- 留守家庭児童会室を利用している子どもにおける土曜日の利用状況をみると、全体では「利用している」が46.6%となっています。
- 子どもの年齢別でみると、9歳では「利用している」が52.9%で他の年齢に比べて高い状況です。

【就学\_全体・年齢別の土曜日の留守家庭児童会室の利用状況】



- 土曜日の留守家庭児童会室の利用期間をみると、全体では「月に1～2回」が57.4%となっています。
- 子どもの年齢別でみると、6歳と7歳では「毎週」が「月に1～2回」を上回っており、5割を超えています。

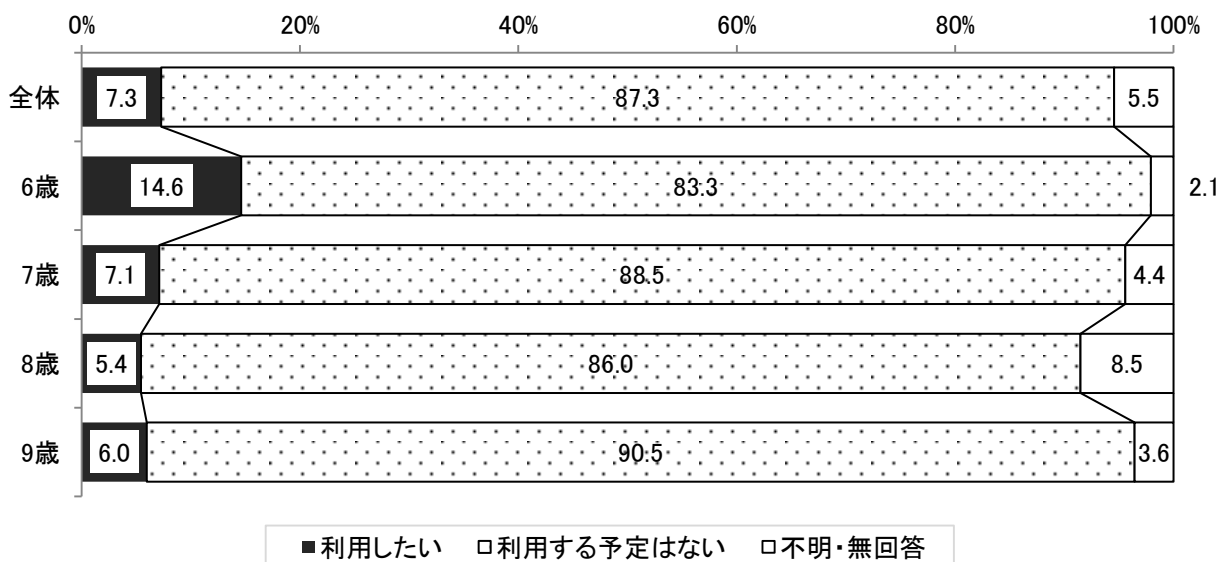
【就学\_全体・年齢別の土曜日の留守家庭児童会室の利用期間】



### 3) 小学生の留守家庭児童会室の利用意向 (就学問 16-1・16-3・16-5・17-1)

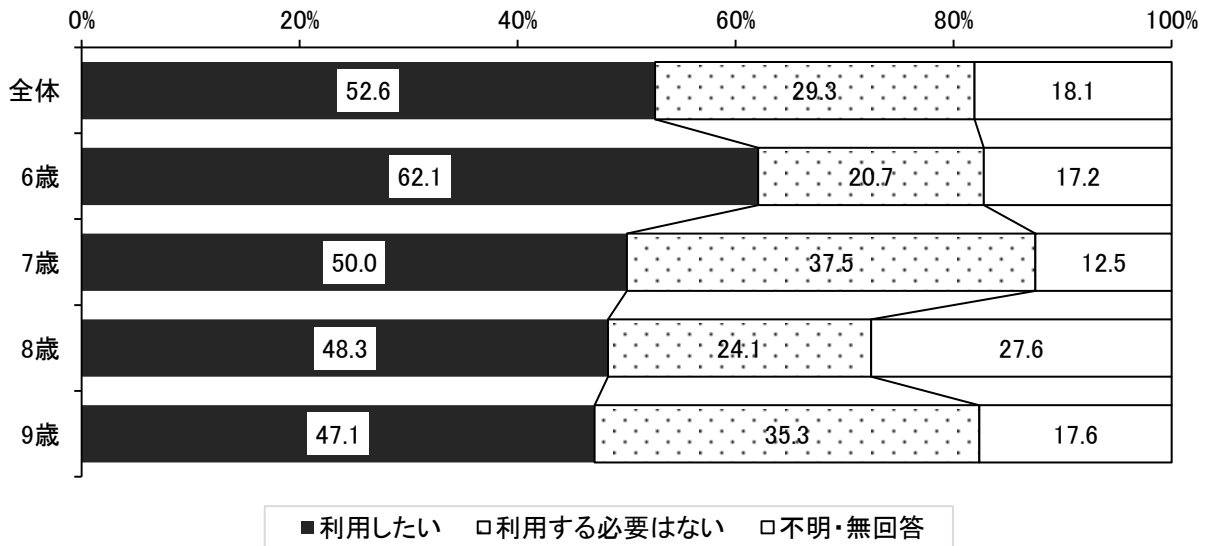
- 留守家庭児童会室の未利用者の今後の利用意向をみると、全体では「利用したい」が7.3%となっています。
- 子どもの年齢別でみると、6歳では「利用したい」が14.6%であり、他の年齢に比べて高くなっています。

【就学\_全体・年齢別の留守家庭児童会室の未利用者の利用意向】



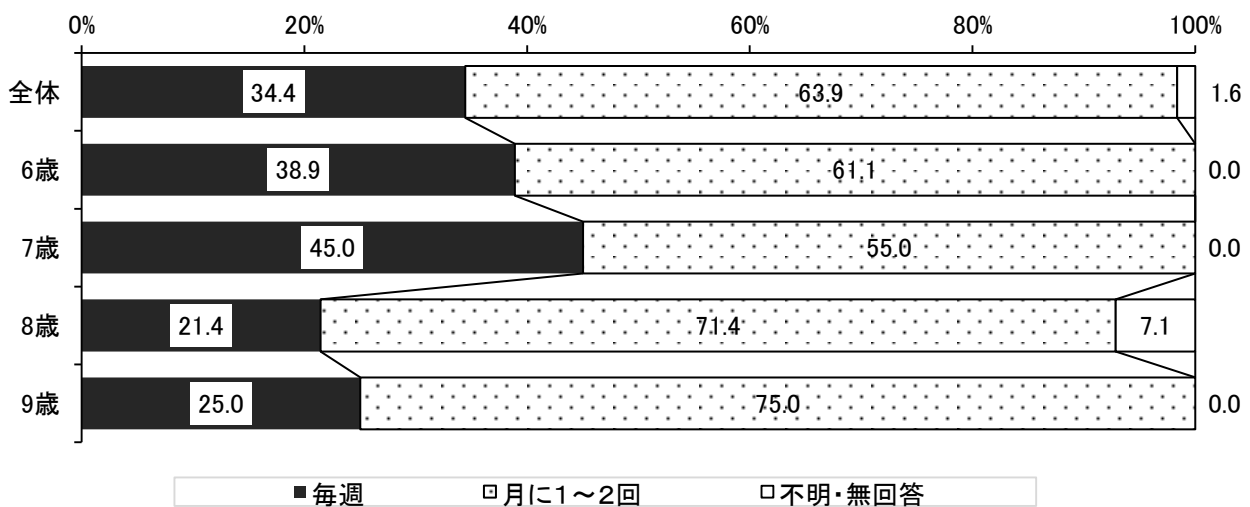
- 留守家庭児童会室の利用者において、土曜日の利用意向をみると、全体では「利用したい」が52.6%となっています。
- 子どもの年齢別でみると、6歳では「利用したい」が62.1%となっていますが、7歳以降では5割前後となっています。

【就学\_全体・年齢別の土曜日の留守家庭児童会室の利用意向】



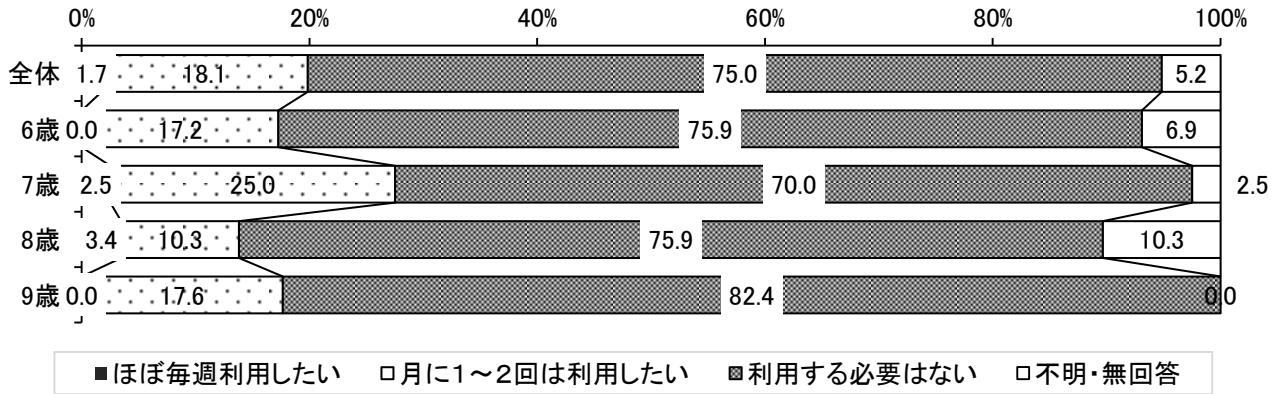
- 土曜日に留守家庭児童会室を利用したい保護者における利用期間をみると、全体では「月に1～2回」が63.9%となっています。
- 子どもの年齢別でみると、6歳、7歳では「毎週」が「月に1～2回」を上回っているのに対し、8歳、9歳では「月に1～2回」が「毎週」を上回っています。

【就学\_全体・年齢別の土曜日の留守家庭児童会室の利用意向期間】



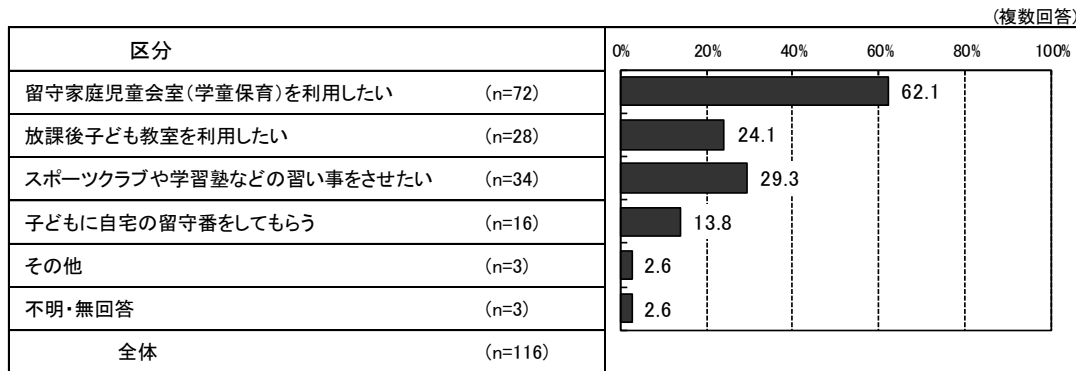
- 留守家庭児童会室の利用者において、日曜日・祝日の利用意向をみると、全体では利用意向のある保護者（「ほぼ毎週利用したい」＋「月に1～2回は利用したい」の合計）は19.8%となっています。
- 子どもの年齢別でみると、「月に1～2回は利用したい」が「ほぼ毎週利用したい」を上回っており、8歳では「月に1～2回は利用したい」が10.3%となっていますが、6歳、7歳、9歳では2割前後となっています。

【就学\_全体・年齢別の日曜日・祝日の留守家庭児童会室の利用意向】



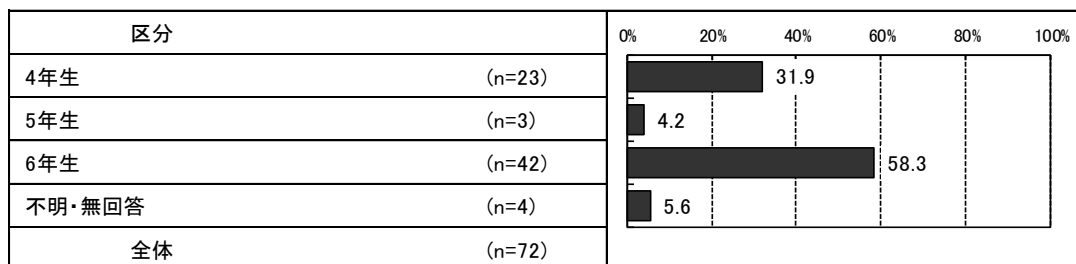
- 留守家庭児童会室の利用者について、4年生以降の放課後の過ごし方の意向をみると、「留守家庭児童会室を利用したい」が62.1%で最も高く、「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」(29.3%)、「放課後子ども教室を利用したい」(24.1%)がつづいています。

【就学\_留守家庭児童会室利用者の4年生以降の放課後の過ごし方の意向】



- 4年生以降も留守家庭児童会室を利用したいと思っている保護者に何年生まで利用したいかと聞いたところ、「6年生」が58.3%で最も多くなっています。

【就学\_留守家庭児童会室利用者の利用意向学年】



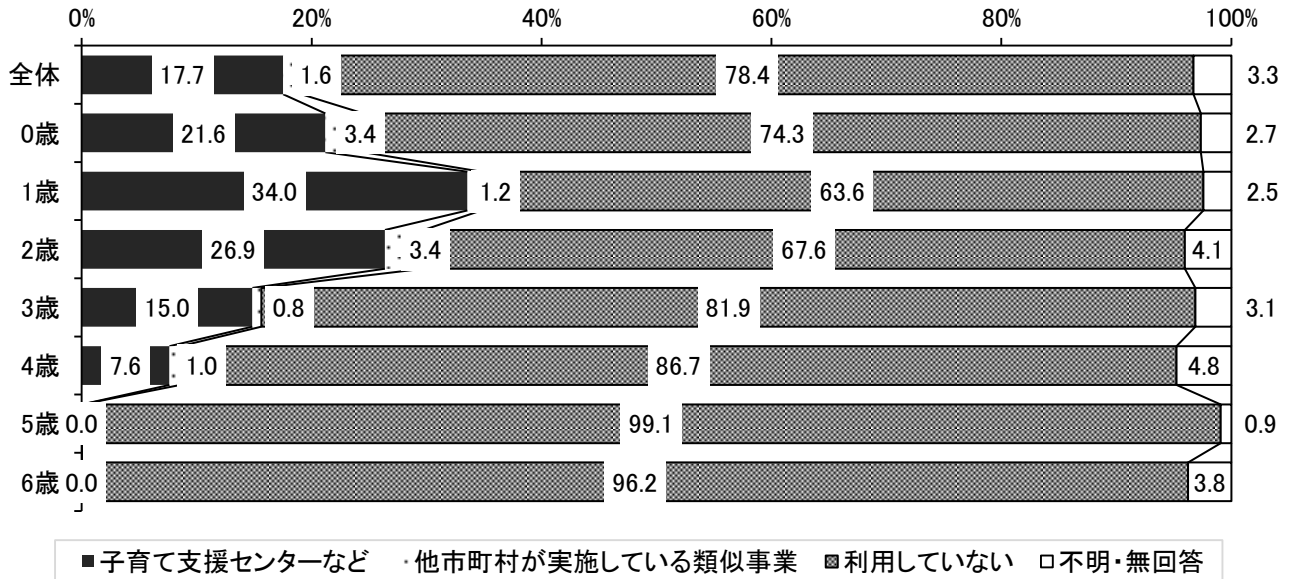


## 8. 子育て支援センターについて（就学前）

### 1) 子育て支援センターについて（就学前問 35・36・36-1-2）

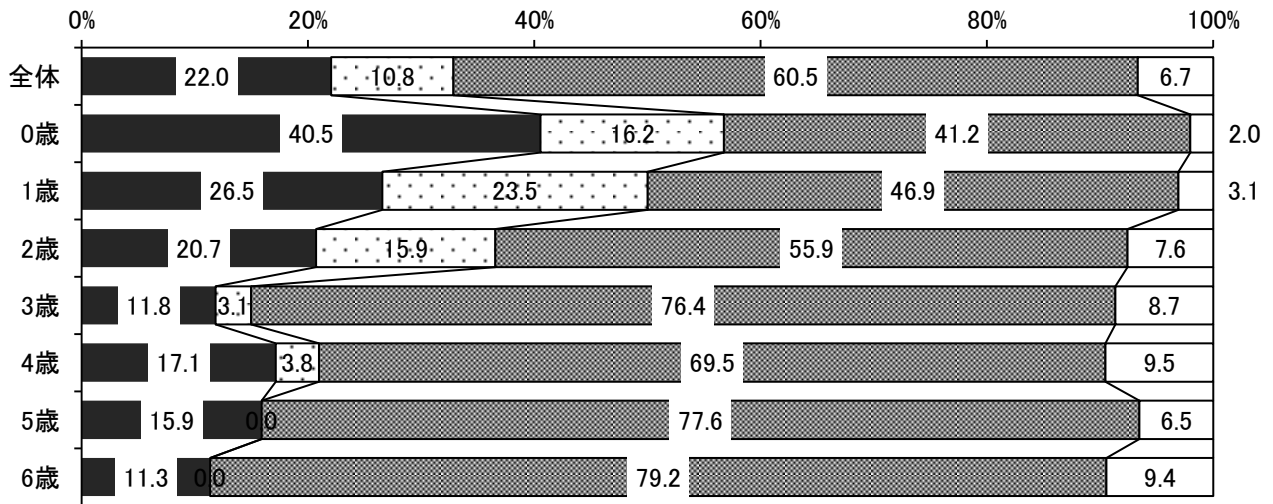
- 子育て支援センターの利用状況をみると、全体では「(市の) 子育て支援センターなど」を利用している保護者は 17.7%となっています。
- 子どもの年齢別でみると、「(市の) 子育て支援センターなど」を利用している保護者は、1歳では 34.0%と最も多くなっており、年齢が上がるにつれて利用状況が低くなっています。

【就学前\_子育て支援センターの年齢別の利用状況】



- 子育て支援センターなどの利用意向をみると、全体では「利用していないが、今後利用したい」が22.0%、「すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい」が10.8%となっています。
- 子どもの年齢別で見ると、0歳では「利用していないが、今後利用したい」が40.5%と、他の年齢に比べて利用意向が高くなっています。

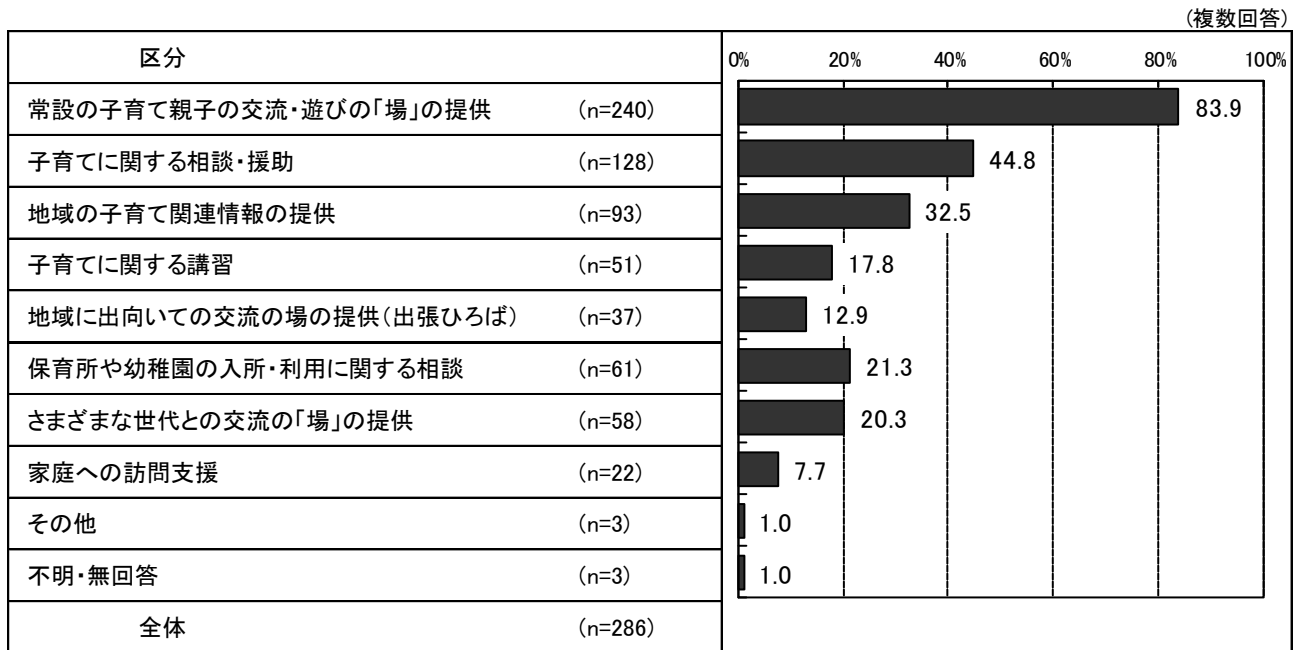
【就学前\_子育て支援センターの年齢別の利用希望】



- 利用していないが、今後利用したい
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない
- 不明・無回答

■子育て支援センターなどで利用したいサービス内容について、「常設の子育て親子の交流・遊びの「場」の提供」が83.9%で最も高く、「子育てに関する相談・援助」(44.8%)、「地域の子育て関連情報の提供」(32.5%)がつついています。

【就学前\_子育て支援センターで利用したいサービス内容】

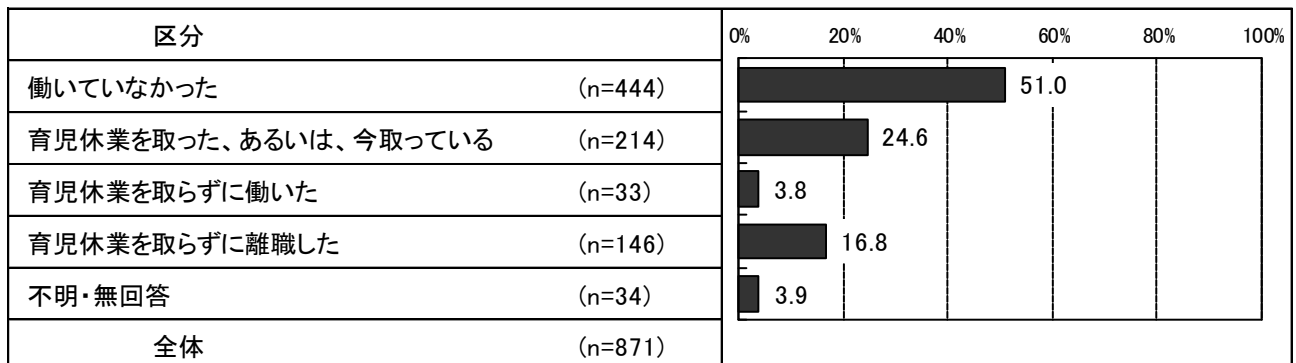


## 9. 子育てと仕事の両立について (就学前)

### 1) 母親の育児休業取得状況 (就学問 23・23-4)

■母親の育児休業の取得状況を見ると、「働いていなかった」が51.0%で最も多く、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」(24.6%)と「育児休業を取らずに離職した」(16.8%)がつついています。

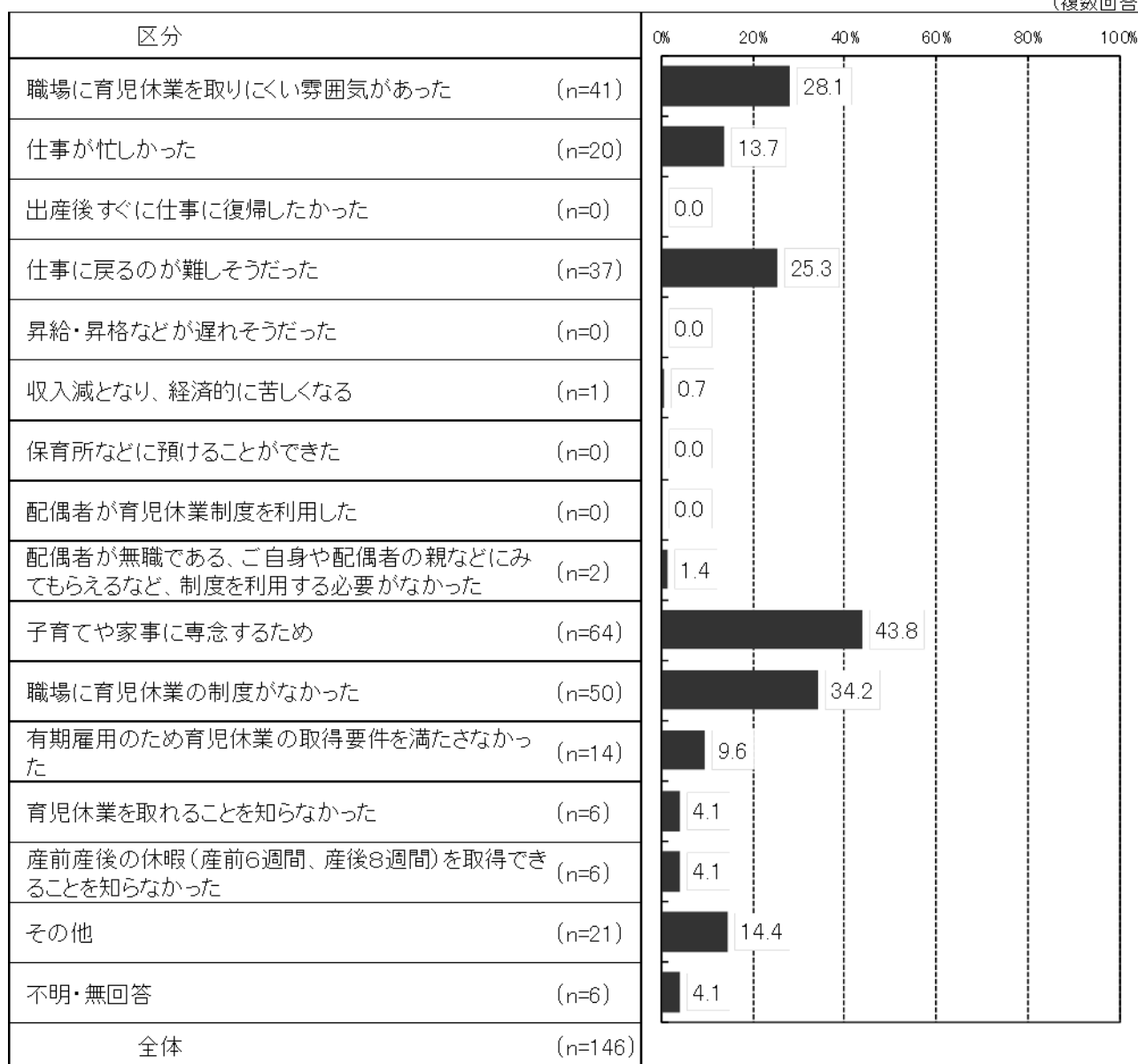
【就学前\_母親の育児休業取得状況】



■母親が育児休業を取得せず、離職した理由をみると、「子育てや家事に専念するため」が43.8%で最も多く、「職場に育児休業の制度がなかった」(34.2%)と「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(28.1%)がつづいています。

【就学前\_母親が育児休業取得せず、離職した理由】

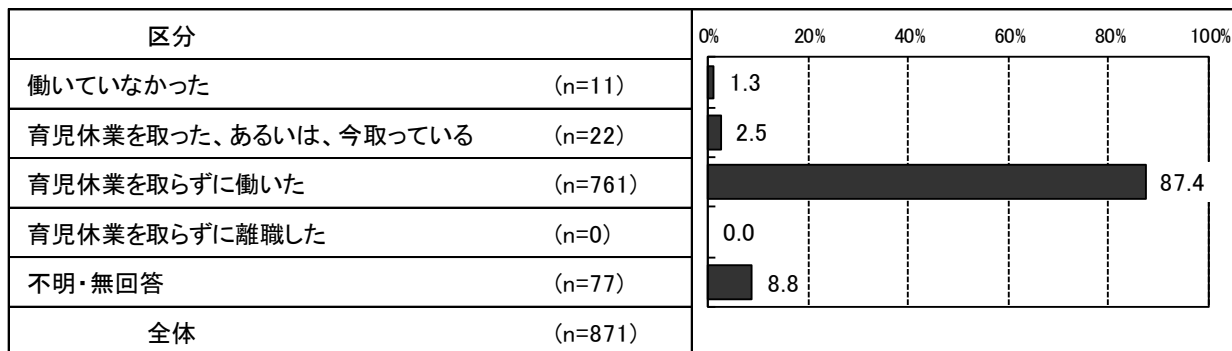
(複数回答)



## 2) 父親の育児休業取得状況（就学前 24・24-3）

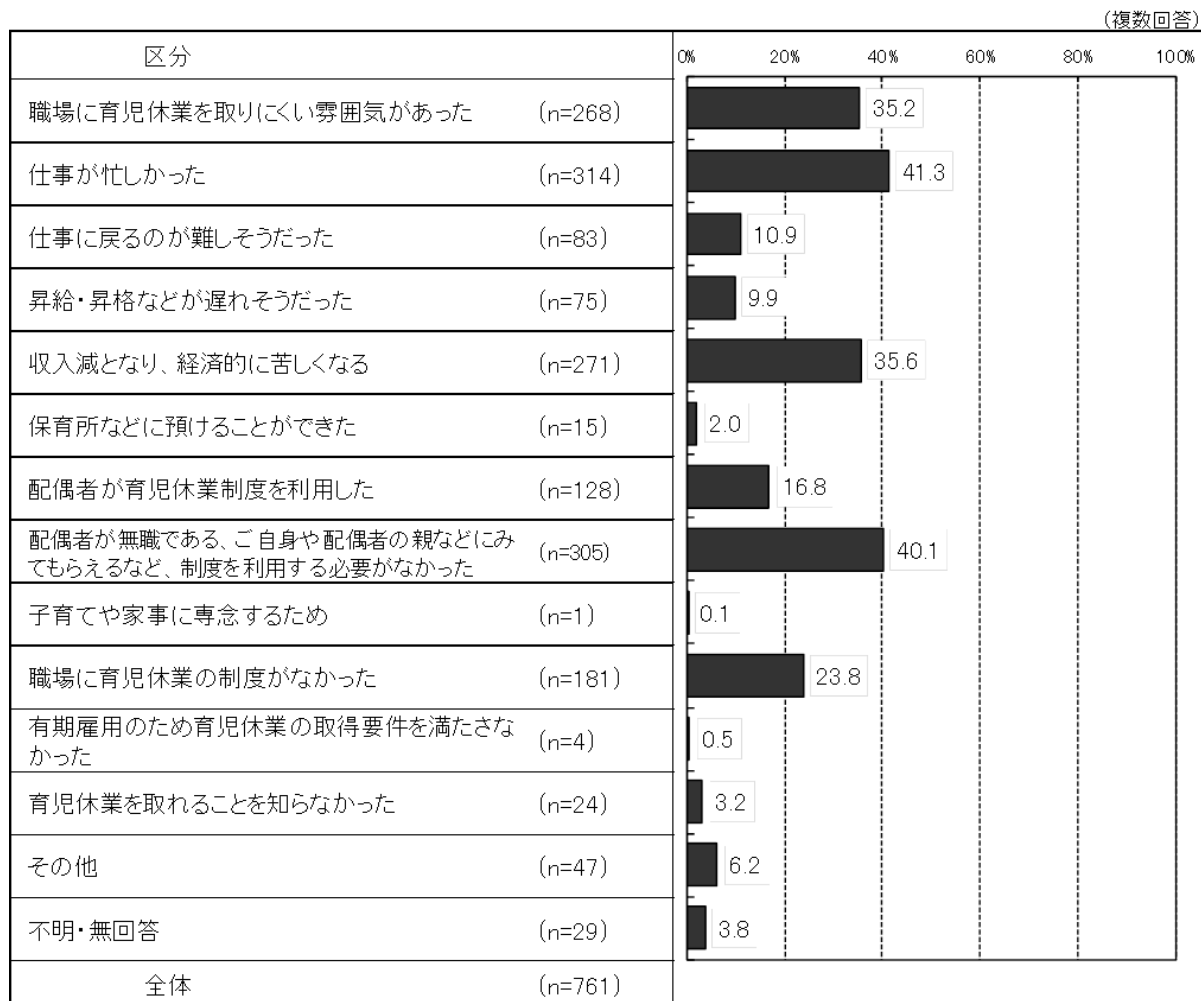
■父親の育児休業の取得状況をみると、「育児休業を取らずに働いた」が87.4%で最も多く、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」(2.5%)と「働いていなかった」(1.3%)がつづいています。

【就学前\_父親の育児休業取得状況】



■父親の育児休業未取得の理由をみると、「仕事が忙しかった」が41.3%で最も多く、「配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(40.1%)と「収入減となり、経済的に苦しくなる」(35.6%)がつづいています。

【就学前\_父親の育児休業の未取得理由】

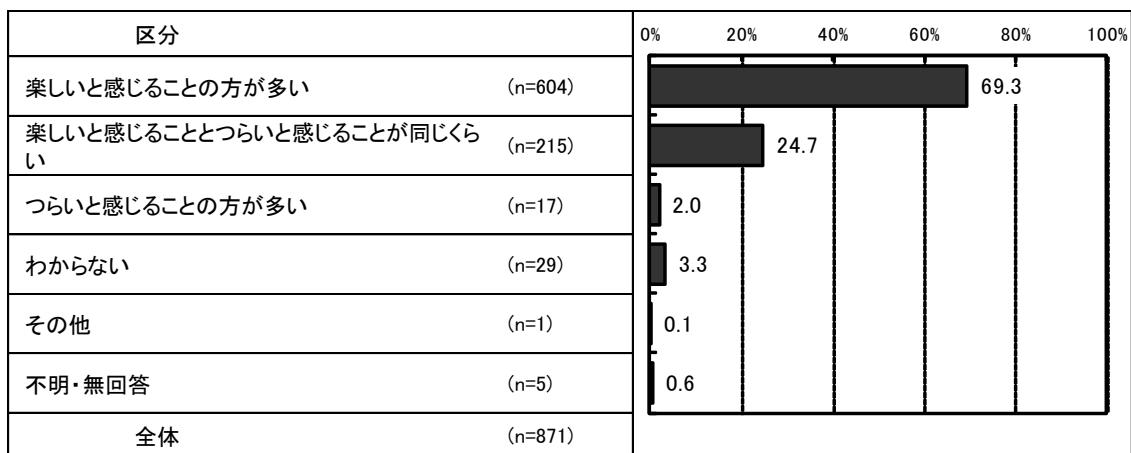


## 10. 子育てに関する意識・動向（就学前・就学児）

### 1) 子育ての楽しさ（就学前問 45）

■子育ての楽しさについて、「楽しいと感じることの方が多し」が69.3%で最も多く、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」（24.7%）がつづいています。

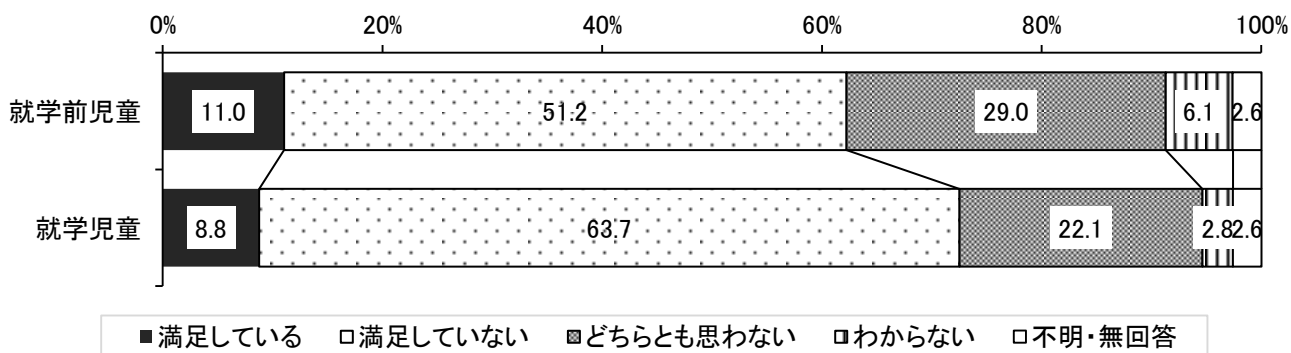
【就学前\_子育ての楽しさ（楽しいと感じることは多いか）】



### 2) 遊び場への満足度（就学前問 41・就学問 30）

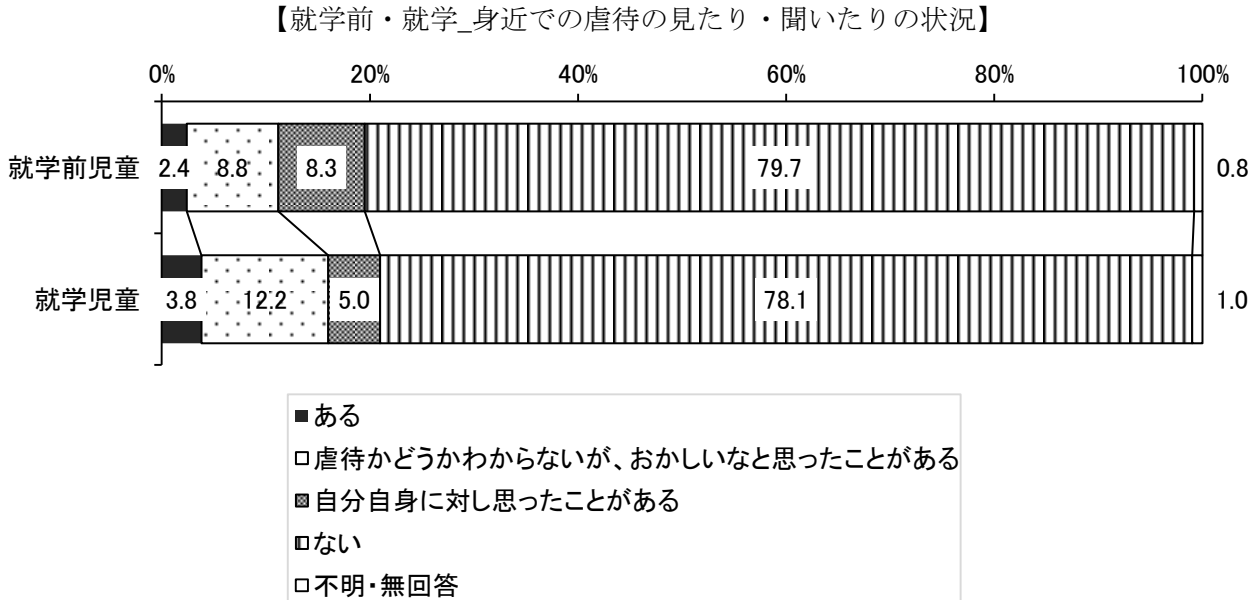
■地域における子どもの遊び場に関する満足度について、「満足していない」が就学前児童では51.2%、就学児では63.7%となっており、就学児童は就学前児童に比べて満足度が低くなっています。

【就学前・就学\_地域における子どもの遊び場に関する満足度】



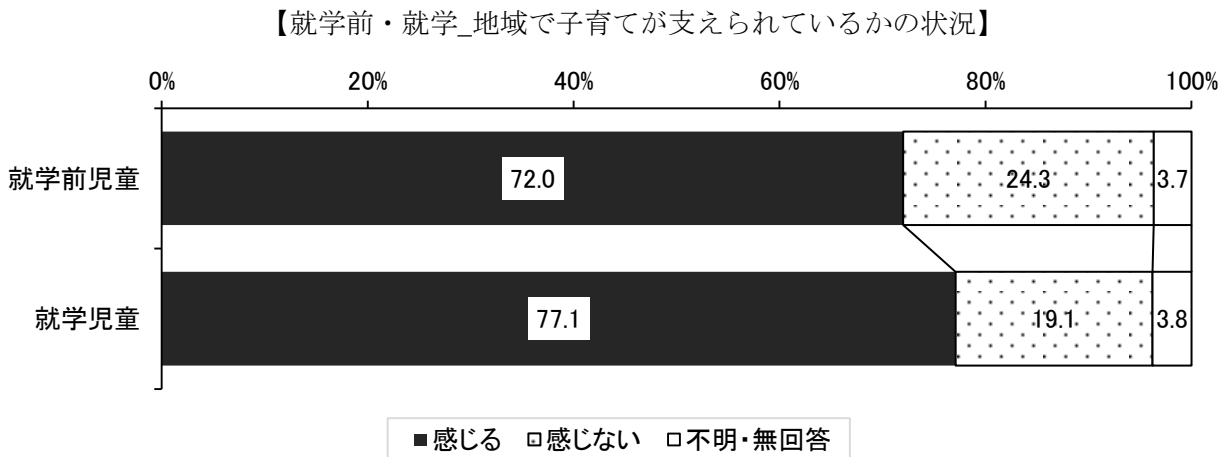
### 3) 子どもの虐待を見聞した経験（就学前問 43・就学問 32）

■身近で虐待を見たり、聞いたりしたことがあるかどうかについては、経験のある保護者（「ある」＋「虐待かどうかわからないが、おかしいなと思ったことがある」＋「自分自身に対し思ったことがある」の合計）は、就学前では 19.5%、就学児童では 21.0%となっています。



### 4) 地域で子育てが支えられているか（就学前問 47・就学問 36）

■地域で子育てが支えられていると感じるかどうかについて、「感じる」保護者は、就学前では 72.0%、就学児では 77.1%となっています。



## 11. 市などに充実させてほしい子育て支援サービス

### 1) 市などに充実させてほしい子育て支援サービス（就学前問 38・就学問 24）

■市などに充実させてほしい子育て支援サービスについて、就学前児童では「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が78.3%で最も多く、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」（69.8%）がつづいています。就学児童では「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が76.9%で最も多く、「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など子育て世帯への経済的援助の拡充」（56.8%）がつづいています。

【就学前・就学\_市などに充実させてほしい子育て支援サービス】

